

令和6年度 山形のみちづくり評議会

日時：令和7年1月27日（月）14:00～15:30

場所：山形県自治会館2階201号会議室

次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 事

（議題）令和5年度 道路事業の達成度報告・・・・・・・・・・資料1

4. 情報提供

（内容1）令和6年7月の大雨被害について・・・・・・・・・・資料2

（内容2）3次元点群データプラットフォーム等について・・資料3

5. 閉 会

令和6年度 山形のみちづくり評議会委員 出席者名簿

	氏 名	役 職	地 区	出欠	備考
会 長	柴田 洋雄	山形大学名誉教授	全県	○	(会場)
委 員	貝山 道博	埼玉大学名誉教授 東北文化学園大学名誉教授	全県	○	(会場)
	森 徹	N H K山形放送局 局長	全県	○	(会場)
	塩原 未知子	有限会社テンプレス アートディレクター	村山地域	○	(会場)
	柴田 薫	わらべ唄の宿 湯の原 女将	最上地域		
	宮原 博通	株式会社 和のくらし文化研究所 代表取締役	置賜地域		
	鈴木 裕士	鶴岡銀座商店街振興組合 理事長	庄内地域	○	(WEB)
	工藤 亜紀子	エイエスエムトランスポート株式会社 代表取締役	庄内地域		
	佐藤 博	東日本高速道路株式会社東北支社 山形管理事務所 所長	全県	○	(会場)
	森田 裕介	国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所長	全県	○	(会場)
	小林 寛	山形県県土整備部 部長	全県	○	(会場)

(敬称略)

令和 5 年度 達成度報告書

山形県県土整備部道路整備課
道路保全課
都市計画課

令和7年1月 27 日

1 山形県道路中期計画について

1

2 9つのみちづくり施策の達成状況

3

1. 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・
機能強化と未事業化区間の着手 3
2. 広域道路ネットワークを活かす追加 IC（スマート IC 含む）
及び IC や拠点へのアクセス道路の整備推進 7
3. 高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援 11
4. 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化 15
5. 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進 19
6. 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の
長寿命化と効率的な道路維持管理の推進 22
7. 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進 26
8. 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進 30
9. 山形の特性を活かした道路ストック（施設）をかしこく使うみちづくりの推進 33

3 総括

36

1 山形県道路中期計画について

■みちづくりの方針と施策

3つの柱

(活力創造・広域交流促進)

1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり

- ① 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手
- ② 広域道路ネットワークを活かす追加 IC（スマート IC 含む）及び IC や拠点へのアクセス道路の整備推進
- ③ 高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

(安全・安心・保全・協働)

2 災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり

- ④ 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化
- ⑤ 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進
- ⑥ 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

(地域活性化・快適・効率化)

3 既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり

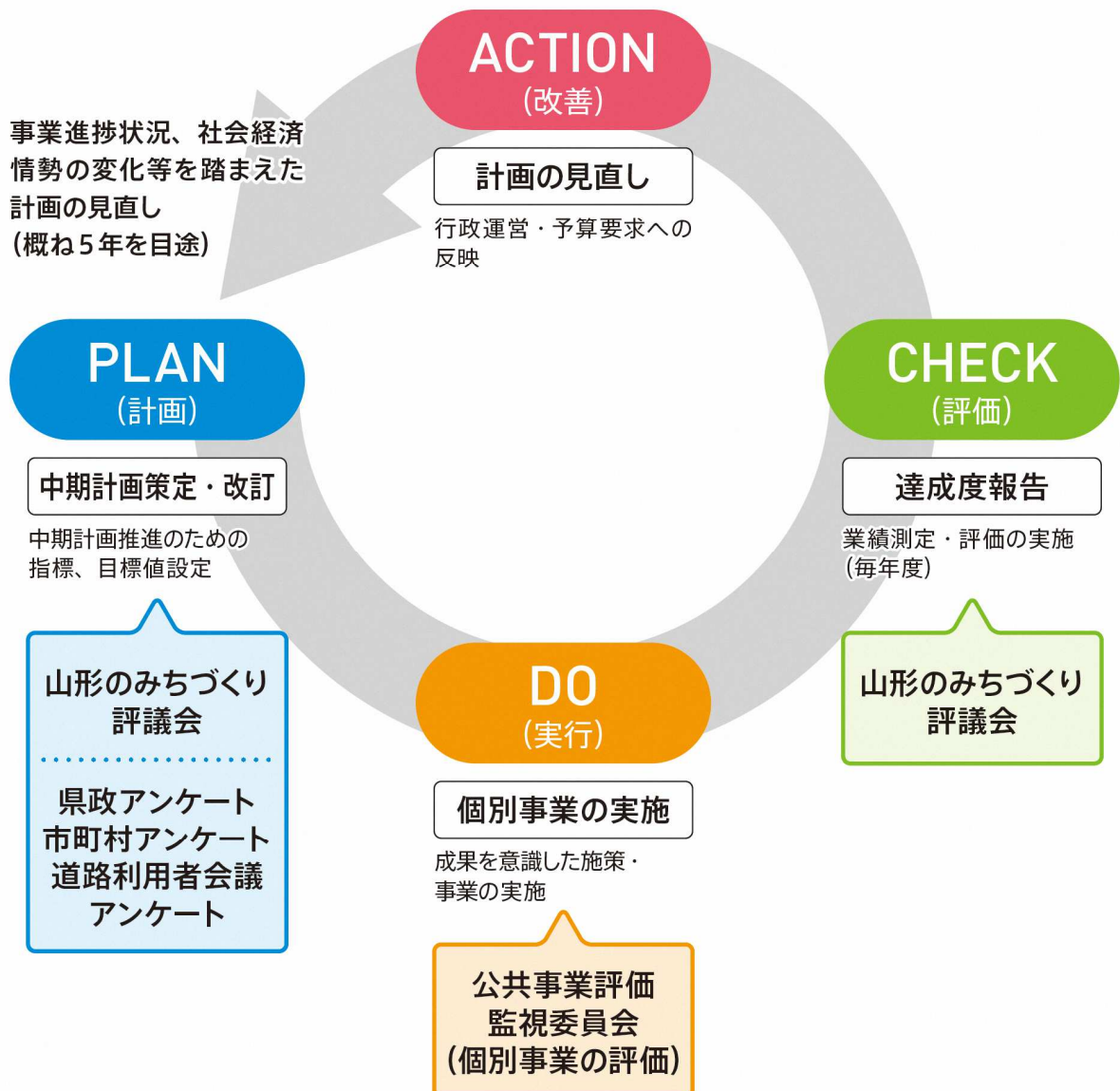
- ⑦ 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進
- ⑧ 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進
- ⑨ 山形の特性を活かした道路ストック（施設）をかしこく使うみちづくりの推進

9つの施策

■施策の進め方

本計画に位置付けたみちづくりの施策の推進にあたっては、PDCA サイクルの考えに基づき、施策指標の達成状況や事業進捗状況を考慮し、取り組みを評価します。

社会情勢や財政状況の変化等に的確に対応するため、広く県民、県議会、市町村、道路利用者からの意見を求めながら、概ね5年を目途に計画の見直しを行います。



2 9つのみちづくり施策の達成状況

1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり

施策1

県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

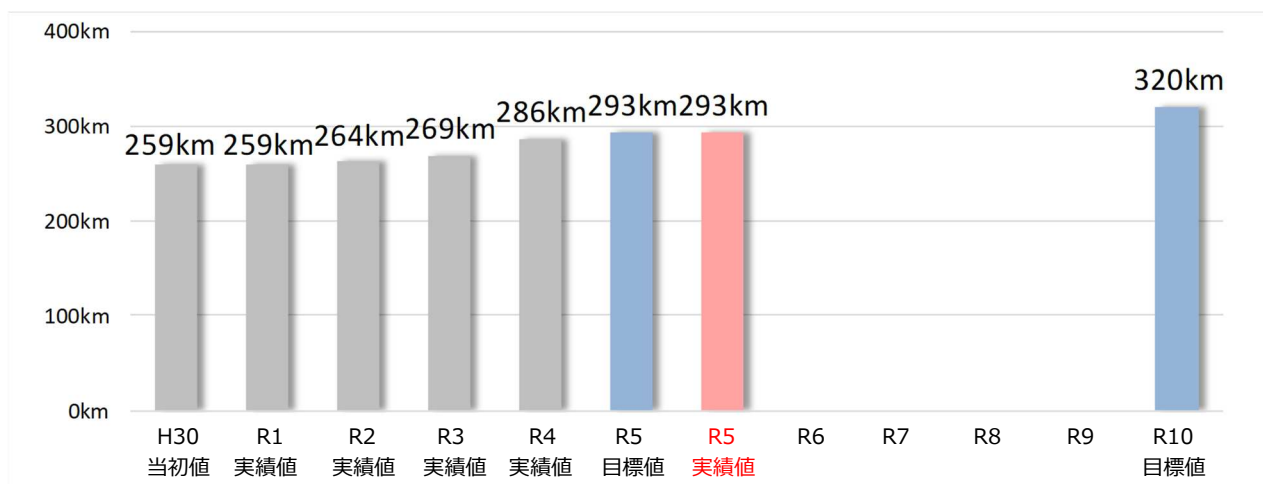
■取組方針

- i) ミッシングリンクの早期解消による高規格道路と直轄国道等とのダブルネットワークの構築に向け、縦軸と特に横軸の整備促進と未事業化区間の事業化に向けた調査促進
- ii) 「重要物流道路(基幹道路)」の整備促進及び国際海上コンテナ車の通行に対応した構造不適合箇所・ぜい弱箇所の機能強化の促進
- iii) 高規格道路網や幹線道路の重大事故の防止を図る効果的な交通安全対策の促進

■指標

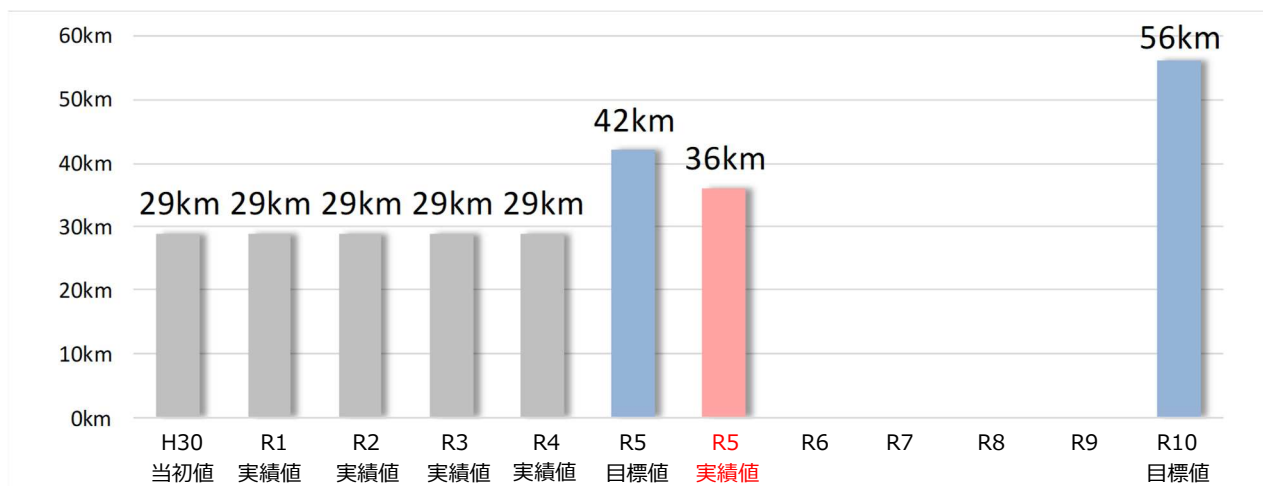
指標(1) 高速道路の供用延長[供用率] ※全線供用時約 340km

(R4)286km[84%] ⇒ (R5)293km[86%]



指標(2) 地域高規格道路の供用延長[供用率] ※全線供用時約 100km

(R4)29km[29%] ⇒ (R5)36km[36%]





▲山形県内の事業中の高規格幹線道路・地域高規格道路（R6.3.31 現在）

■実施事業例1 【高速道路の整備】

事業名	日本海沿岸東北自動車道 ^{さかた} 酒田みなと～ ^{ゆざ} 遊佐（遊佐比子 IC～遊佐鳥海 IC）
事業概要	日本海沿岸東北自動車道は、新潟県から山形県・秋田県の日本海側を縦断し、東北縦貫自動車道と連結し、青森県に至る高規格幹線道路である。 高速ネットワーク形成により災害時における緊急輸送と速達性の確保、第三次救急医療施設へのアクセス改善、及び日本海側拠点の交流・連携強化などの効果が期待されており、R6.3.23に遊佐比子 IC～遊佐鳥海 IC 間（L=6.5km）が開通した。
	○日本海沿岸東北自動車道の一部の整備（令和6年3月23日開通） ・遊佐比子 IC～遊佐鳥海 IC L=6.5km 整備後   遊佐町 出典：酒田河川国道事務所

■実施事業例2 【地域高規格道路の整備】

事業名	国道113号 ^{りんごうどうろ} 梨郷道路（ ^{なが いし おおあざいまいずみ} 長井市大字今泉～ ^{なんようし おおあざだけほら} 南陽市大字竹原）
事業内容	梨郷道路は、地域高規格道路「新潟山形南部連絡道路」の一部を構成する自動車専用道路である。信頼性の高いネットワーク形成により、地域の広域物流の支援、地域救急医療活動の支援、沿線の地域開発の支援などの効果が期待されており、R6.3.9に開通した。
R5整備内容	○新潟山形南部連絡道路の一部の整備（令和6年3月9日開通） ・長井市大字今泉～南陽市大字竹原 L=7.2km 整備後   南陽市 長井市 出典：山形河川国道事務所

■達成状況と今後の取組み

	路線名 () : 県内延長	R5 まで 供用済	整備促進・供用を目指す区間 【】 : 開通予定	新規着手を 目指す区間
高速道路	東北中央自動車道 (約 156 km)	供用済 144 km	事業中 12 km ・新庄金山道路 ・真空川雄勝道路 ・金山道路	
	日本海沿岸東北 自動車道 (約 53 km)	供用済 38 km	事業中 15 km ・遊佐象潟道路 ・朝日温海道路	
	東北横断 自動車道酒田線 (約 131 km)	供用済 110 km		未着手 21 km ・(仮) 庄内内陸 月山連絡道路
地域高規格道路	新庄酒田道路 (約 50 km)	供用済 21 km	事業中 20 km ・新庄古口道路【R6 開通】 ・高屋道路 ・高屋防災 ・戸沢立川道路	未着手 9 km ・高屋～草薙 ・立川～余目
	新潟山形南部 連絡道路 (約 50 km)	供用済 14 km	事業中 11 km ・小国道路	未着手 25 km ・小国～長井
	石巻新庄道路 (約 30 km)			未着手 30 km ・宮城県境～新庄
追加 IC・スマート IC	東北中央自動車道	・村山名取 IC ・村山本飯田 IC ・大石田村山 IC ・米沢中央 IC ・東根北 IC ・山形 PA/スマート IC	・山形 PA/スマート IC ・高畠スマート IC (仮称) ・天童南スマート IC (仮称)	
	日本海沿岸東北 自動車道	・いらがわ IC ・三瀬 IC ・鶴岡西 IC ・庄内空港 IC		

施策2

広域道路ネットワークを活かす追加 IC(スマート IC 含む)及び IC や
拠点へのアクセス道路の整備推進

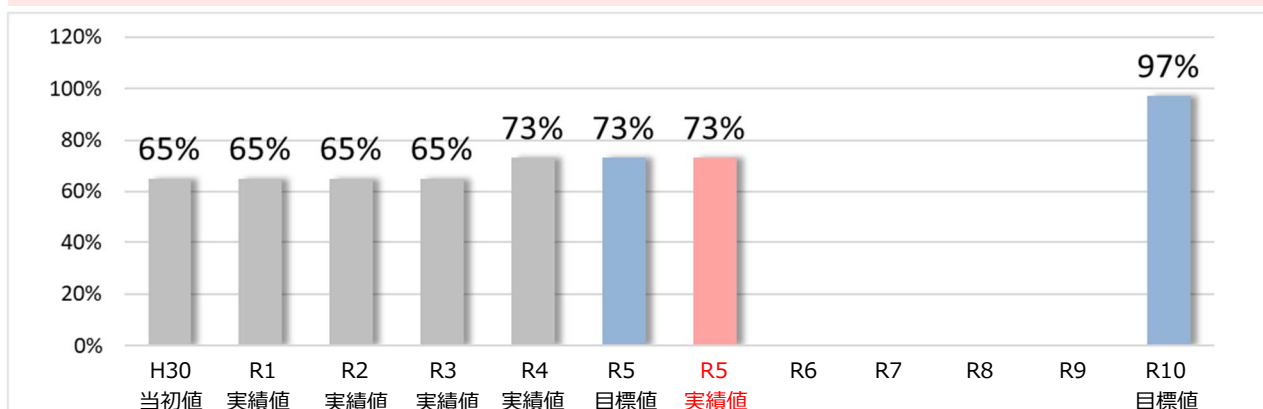
■取組方針

- i) 高規格道路を利便しやすい環境整備を図るため、追加 IC やスマート IC の整備を促進
- ii) 県内全域へのアクセス性向上に向け、高速道路など高規格道路の IC 等に接続するアクセス道路の整備を推進
- iii) 重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス道路の整備を推進

■指標

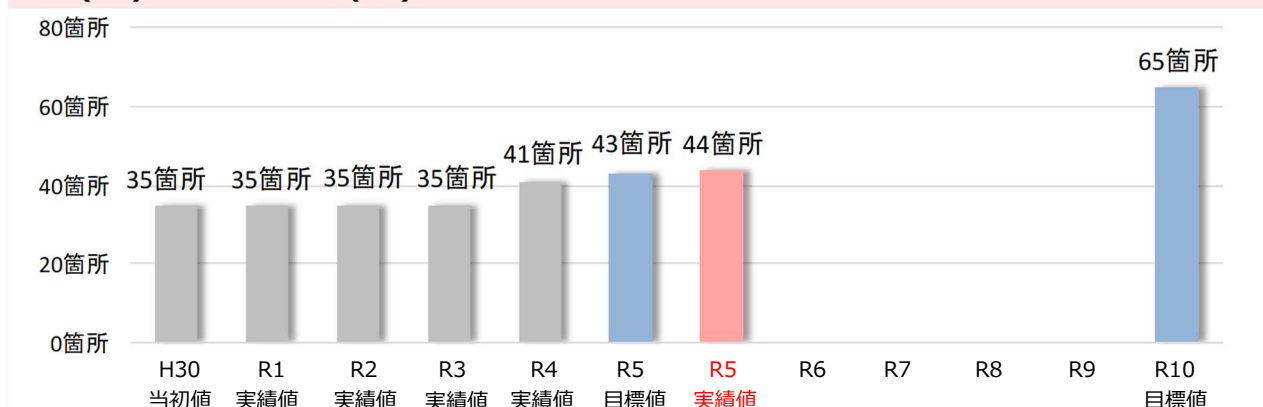
指標(3) ICへ30分でアクセスできる人口の割合

(R4)72.6% ⇒ (R5)73.3%



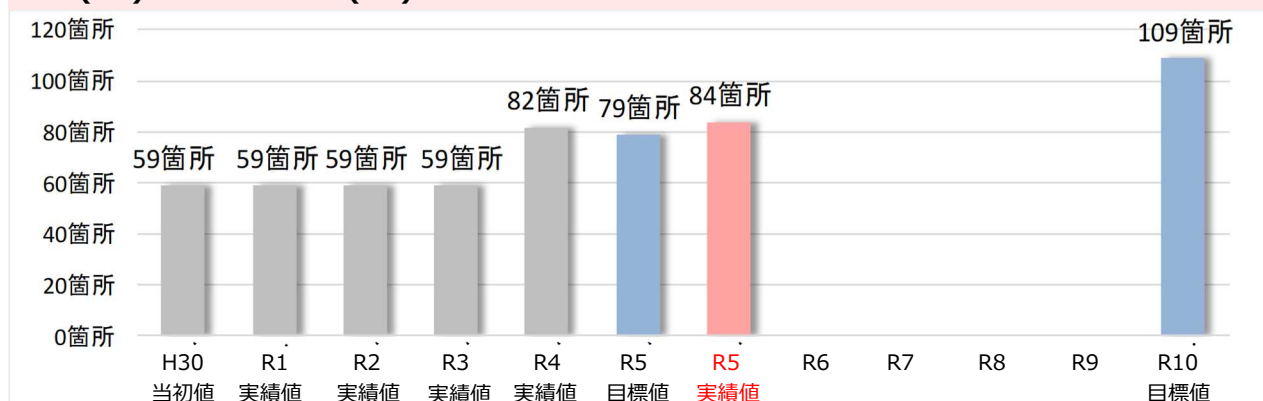
指標(4) ICへ10分でアクセスできる工業団地数

(R4)41箇所 ⇒ (R5)44箇所

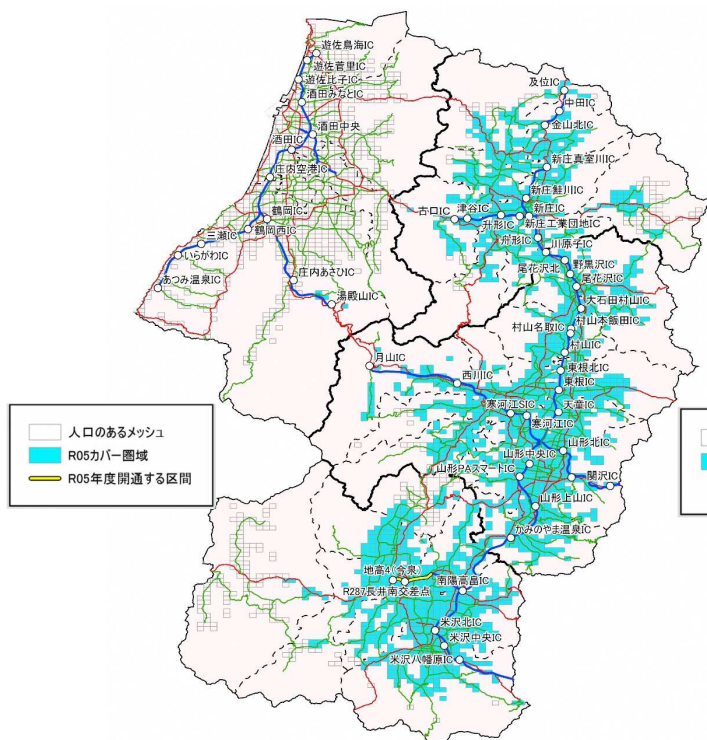


指標(5) ICへ30分でアクセスできる主要な観光地数

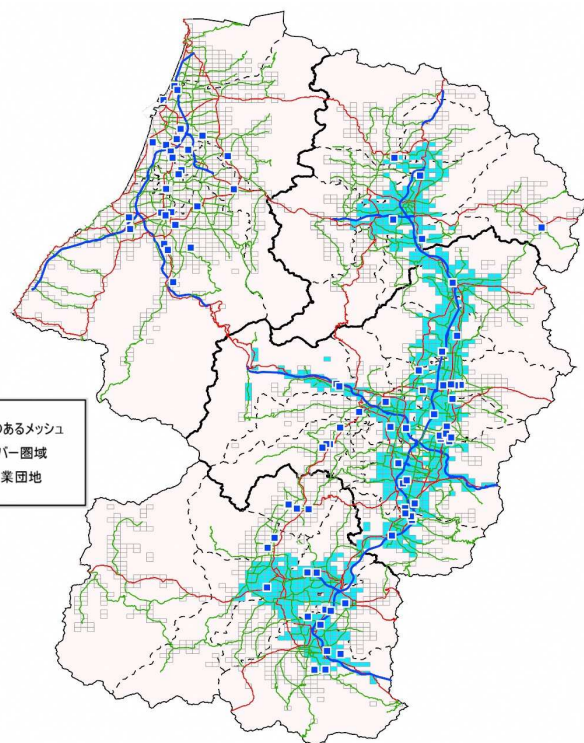
(R4)82箇所 ⇒ (R5)84箇所



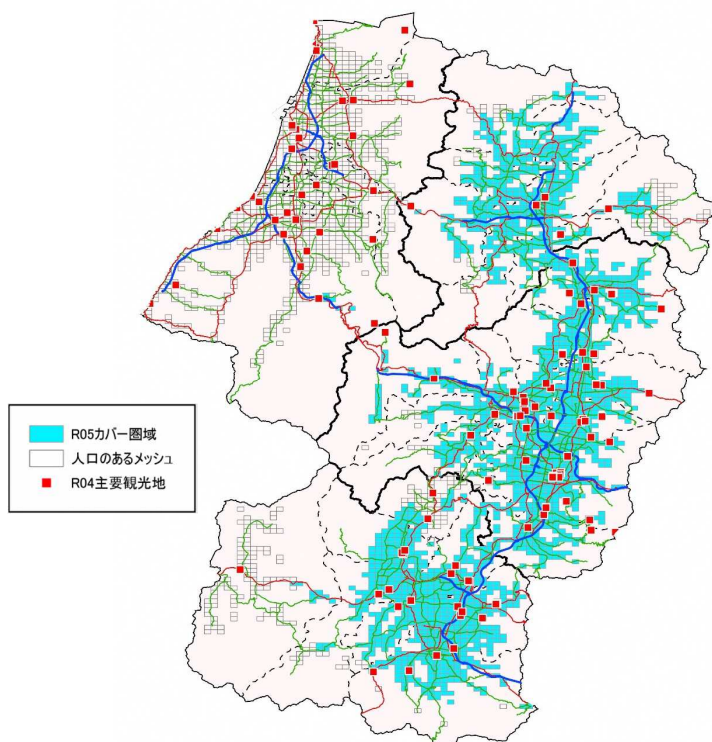
(IC30 分アクセスカバー圏域※)



(IC10 分アクセスカバー圏域※と工業団地の位置)



(IC30 分アクセスカバー圏域※と主要観光地の位置)



▲山形県内の IC カバー圏域※ (R05 年度末時点)

※全国の広域道路ネットワーク
と繋がらない高速を除外

■実施事業例1 【拠点へのアクセス道路の整備】

事業名	(国) 287 号【米沢北バイパス】バイパス整備 よねざわしくぼたまち ろくごうち (米沢市窪田町～六郷町)
事業内容	一般国道 287 号は、山形県米沢市から長井市・寒河江市を經由して東根市に至り、山形空港、山形自動車道、東北中央自動車道などにアクセスする総延長 82km の重要幹線道路である。 米沢～長井間は、幅員狭小・線形不良により慢性的な渋滞、交通事故が発生する等、必要な機能を有していないため、米沢市窪田町小瀬から同六郷町桐原までの 3.4 km 区間の米沢北バイパスを整備した。 本バイパスの整備により、交通分散による渋滞緩和、救急医療機関や高速道路へのアクセスの向上、地域ネットワークの構築に寄与するものと期待される。 
R5 整備内容	○米沢北バイパスの整備 ・L=2,800m、W=6.5(10.5)[20.0]m (令和 5 年 12 月 2 日開通) (整備前)  (整備後) 米沢北バイパスの整備 

■達成状況と今後の取組み

【令和 5 年度の達成状況】

路線名	箇所名	事業内容	アクセス先	中期 計画※
(国) 287 号	米沢北バイパス	バイパス整備	東北中央道米沢北 IC	

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	アクセス先	中期 計画※
-----	-----	------	-------	-----------

〔村山地域〕

(主) 山形天童線	天童市成生～ 東根市羽入	アクセス道路整備	東北中央道東根 IC	村山④
-----------	-----------------	----------	------------	-----

など

〔最上地域〕

(国) 458 号	本合海バイパス 【R6 開通】	アクセス道路整備	新庄酒田道路	最上④
(主) 戸沢大蔵線	古口	アクセス道路整備	新庄酒田道路	最上⑤

など

〔置賜地域〕

(国) 287 号	米沢川西バイパス	アクセス道路整備	東北中央道米沢北 I C 新潟山形南部連絡道路	置賜④
(国) 287 号	川西バイパス	アクセス道路整備	東北中央道米沢北 I C 新潟山形南部連絡道路	置賜⑤

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

施策3

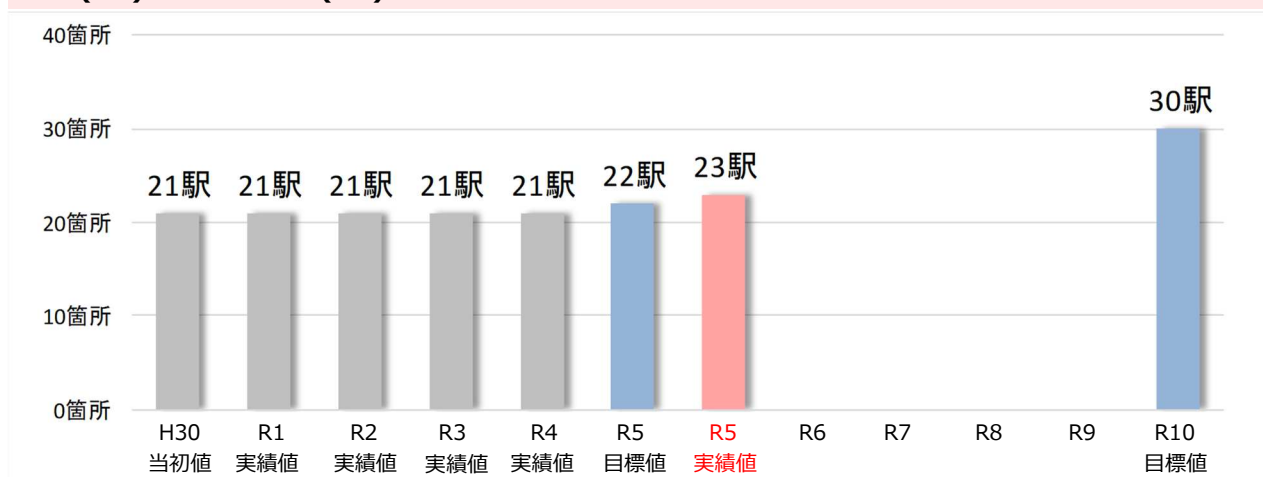
高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

- i) ゲートウェイとなる「道の駅」等の整備促進に向けた市町村の取組を支援
- ii) 公共交通の交通結節点としての機能を持ち、活気あふれる「道の駅」の機能強化を支援
- iii) 地域の防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の周知

■指標

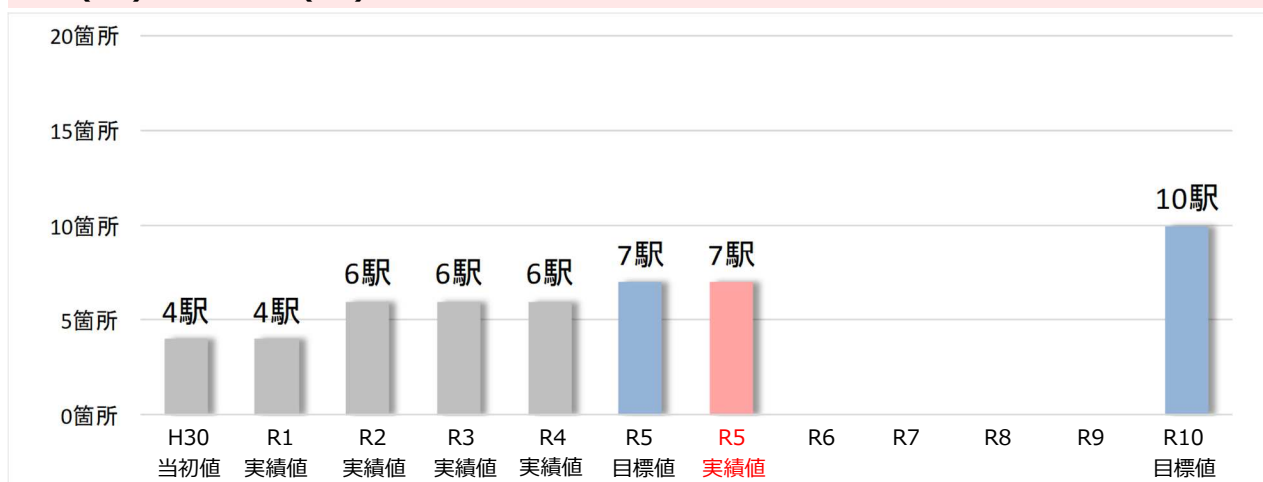
指標(6) 山形らしい魅力のある「やまがた道の駅」の数

(R4)21 駅 ⇒ (R5)23 駅



指標(7) 防災拠点機能を備えた「道の駅」の数

(R4)6 駅 ⇒ (R5)7 駅



■実施事業例1 【山形らしい魅力ある「やまがた道の駅」の整備】

事業名	道の駅「やまがた蔵王」整備事業 やまがたしおもてざおう (山形市表蔵王 地内)【直轄一体型】
事業内容	道の駅「やまがた蔵王」は、山形上山 IC 付近に整備された。蔵王、そして山形の地域資源の魅力を発信し、人を呼び込むゲートウェイ機能を果たし、新たな人の流れの創出が期待される。 また、当該道の駅を整備することで道路利用者のみならず市民と周辺地域の住民が日常的に集い、山形を体感しながら心地よくつろぎ、交流できる空間の創出が期待される。  至 新庄市 至 米沢市 地図出典 : Copyright(c) N T T空間情報 All Rights Reserved
R 5 整備内容	(令和 5 年 12 月 3 日開業)  (山形市 HP より引用)

■実施事業例 2 【山形らしい魅力ある「やまがた道の駅」の整備】

事業名	道の駅「もがみ」整備事業 もがみぐんもがみまちし も (最上郡最上町志茂 地内) 【直轄一体型】
事業内容	道の駅「もがみ」は、国道 47 号沿い当町を含む県境約 80 km圏内に道の駅がない区間へ整備することで、道路利用者が安心して休憩できる場の提供と、地域産業振興及び情報発信の強化が期待される。 また、当該道の駅を整備することで道路利用者のみならず町民と周辺地域の住民が日常的に集い、山形を体感しながら心地よくつろぎ、交流できる空間の創出が期待される。  地図出典：Copyright(c) N T T空間情報 All Rights Reserved
R5 整備内容	(令和 5 年 11 月 26 日開業) 

■達成状況と今後の取組み

【令和5年度の達成状況】

駅名	市町村	事業内容
道の駅「やまがた蔵王」	山形市	新たな道の駅整備
道の駅「もがみ」	最上町	新たな道の駅整備

【整備中の道の駅（参考）】

駅名	市町村	事業内容
道の駅「おおえ」	大江町	既存の道の駅の再整備（R6 リニューアル）
道の駅「鳥海」	遊佐町	既存の道の駅の移転整備
道の駅「あつみ」	鶴岡市	既存の道の駅の移転整備
道の駅「むらやま」	村山市	既存の道の駅の移転整備
道の駅「（仮称）しんじょう」	新庄市	新たな道の駅整備
道の駅「（仮称）さくらんぼ東根」	東根市	新たな道の駅整備

など

【今後の取組み】

・市町村による「道の駅」の新設や移転に関する取り組みへの技術的支援 ・山形らしい魅力ある「道の駅」の整備・活性化を技術的支援 ・防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の整備促進 ・道の駅の情報発信（「やまがた『道の駅』車旅案内」の企画・配布等）
--

など

2 災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり

施策4

防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化

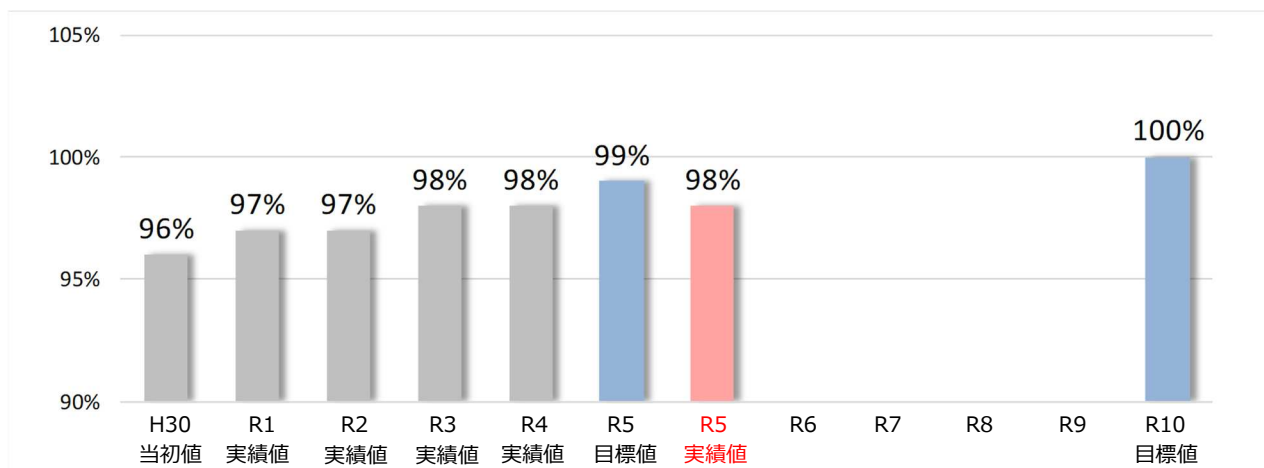
■取組方針

- i) 「緊急輸送道路」や「重要物流道路」とともに指定される「代替路」や「補完路」について、道路ネットワークの強化のため、橋梁の耐震化等を優先的に実施
- ii) 道路の防災対策を推進
- iii) 県土強靱化に向けた、災害に強い道路ネットワークの整備推進
- iv) 災害発生時における迅速かつ正確な交通規制・迂回路等の情報提供、孤立解消に向けた迅速な応急復旧等を実施

■指標

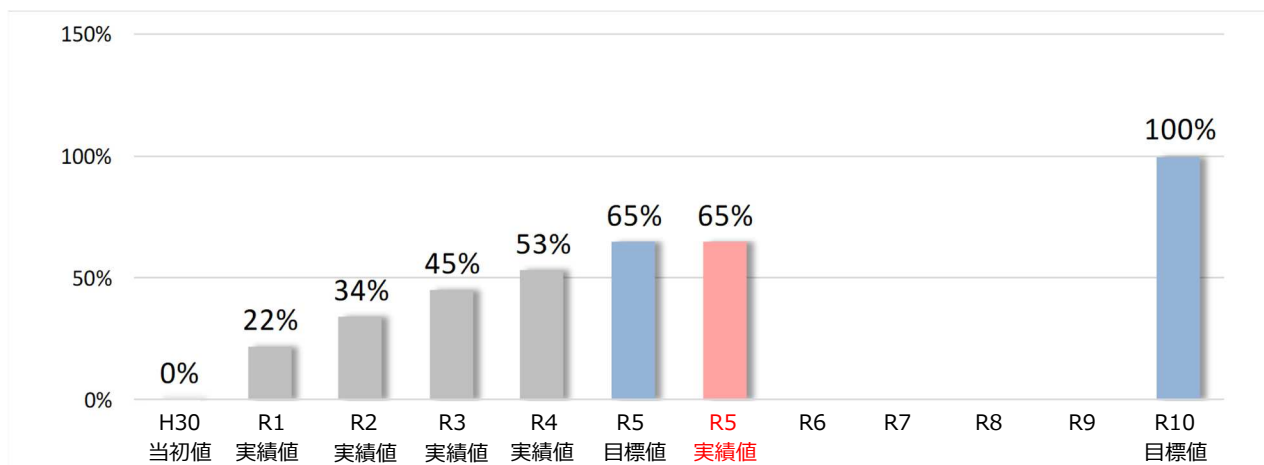
指標(8) 緊急輸送道路における橋梁耐震化率

(R4)98% ⇒ (R5)98%



指標(9) 重要インフラ緊急点検による要対策箇所の対策率

(R4)53% ⇒ (R5)65%



■実施事業例 1 【緊急輸送道路における橋梁耐震化の対策】

事業名	(主) 米沢飯豊線【須坂橋】橋梁耐震化・橋梁補修 にしおかたまぐんいいでまちこさか (西置賜郡飯豊町小坂地内)
事業概要	主要地方道米沢飯豊線は、山形県米沢市と西置賜郡飯豊町を結び、通勤・通学や観光、宿泊施設へのアクセラードなど多面的な機能を有しており、第2次緊急輸送道路として位置付けられている重要な道路である。 本事業は落橋防止装置の新規設置を行い、耐震補強を図ったものである。 
R5 整備内容	○落橋防止装置新規設置、伸縮装置交換、主桁（鋼）再塗装、支承金属溶射など (令和5年度対策完了) (整備前) (整備後) 落橋防止装置新規設置 

■実施事業例 2 【重要インフラ緊急点検による要対策箇所の対策率】

事業名	(主) 蔵王公園線^{さおうこうえん}【蔵王堀田】 大型ブロック積擁壁 (山形市蔵王温泉^{やまがたさおうおんせん} 地内)
至 山形市 事業概要	主要地方道蔵王公園線は山形市中心部と蔵王温泉を結ぶ主要幹線道路であり、観光客の利用が多い路線である。また、第2次緊急輸送道路として位置付けられている重要な路線である。 当該箇所は融雪の影響で路肩欠損により幅員が減少し、大型車のすれ違い困難箇所が発生していたことから、大型ブロック積擁壁による路肩の復旧を行うものである。 
R5 整備内容	○擁壁工修繕 L = 72m (令和5年度対策完了) (整備前)   (整備後) 擁壁工修繕  

■達成状況と今後の取組み

【令和5年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	中期計画※	備考
（主）米沢飯豊線	飯豊町小坂	須坂橋耐震化・橋梁補修		事例 1
（国）344 号	山形市蔵王温泉	大型ブロック積擁壁		事例 2

など

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※	備考
〔村山地域〕				
（国）286 号	山形市防原町	棒原橋架替	村山⑦	
（主）山形朝日線	朝日町送橋	法面对策	村山⑧	

など

〔最上地域〕

（主）真室川鮭川線	真室川町川ノ内	栗谷沢橋取付	最上⑥	
（主）新庄次年子村山線	舟形町堀内	堀内橋架替	最上⑦	

など

〔置賜地域〕

（主）長井飯豊線	飯豊町小白川	大巻橋架替	置賜⑦	
（一）五味沢小国線	小国町小国小坂町	飯綱橋架替	置賜⑧	

など

〔庄内地域〕

（一）余目松山線	庄内町提興屋～酒田市竹田	庄内橋架替	庄内⑥	
（一）藤島由良線	三川町横山	防雪柵	庄内⑩	

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

施策5

人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進

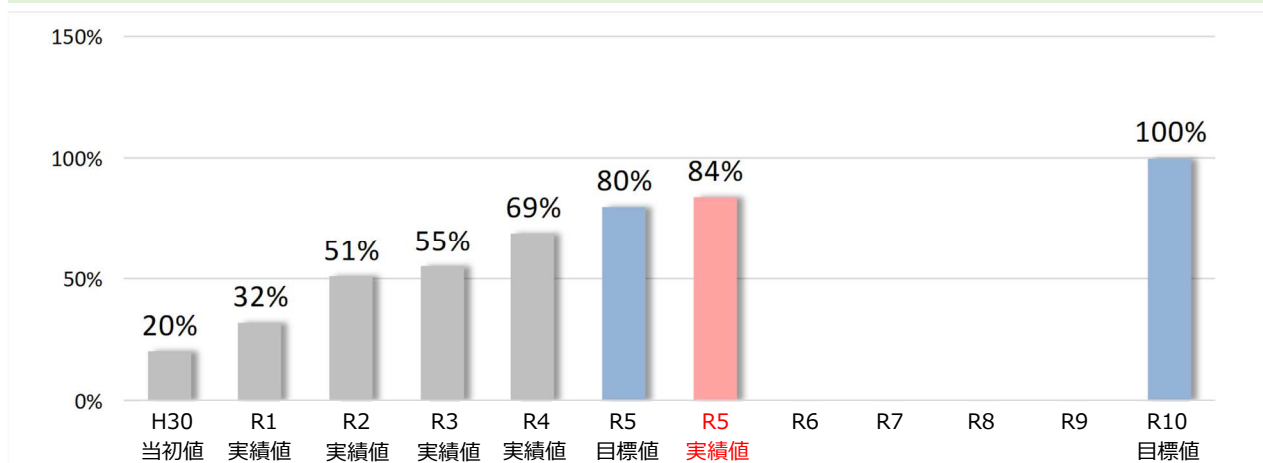
■取組方針

- i) 子ども達の通学路の安全確保に向け、通学路合同点検等を踏まえ、歩道設置やゾーン30プラス等の交通安全対策を推進
- ii) 進行する高齢化を見据え、子どもだけではなく高齢者や障がい者にも優しい歩行空間を創出（無電柱化による障害物除去、段差解消等）
- iii) 限られた予算内で広く効果を発現できるよう、多様な交通安全対策を実施（側溝整備等による幅広路肩の整備、視認性確保のための路肩や交差点のカラーリング、植樹帯の除去による道路空間の再配分など）

■指標

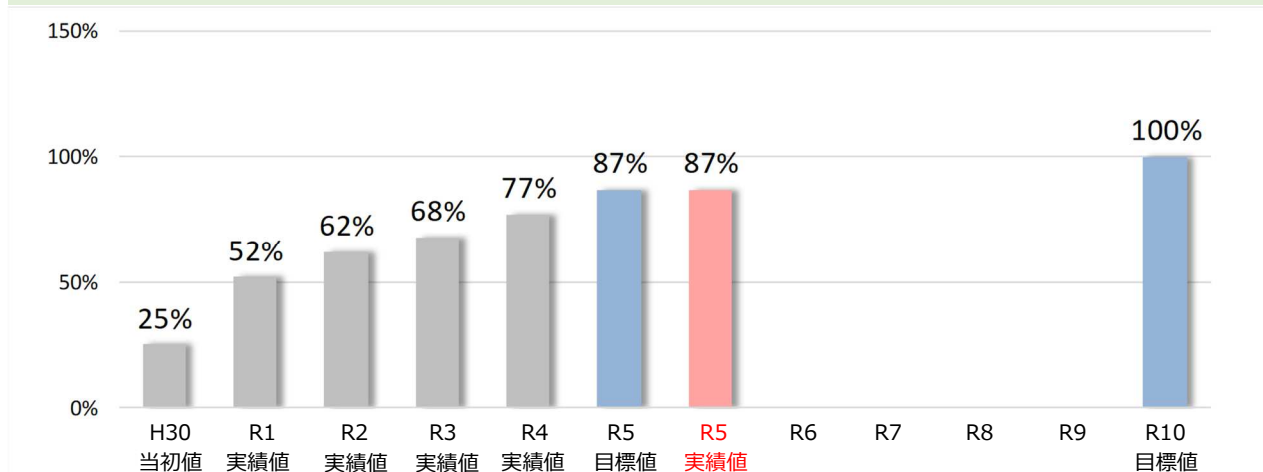
指標(10) 通学路点検による要対策箇所の対策率※

(R4)69% ⇒ (R5)84%



指標(11) 事故危険区間の対策率※

(R4)77% ⇒ (R5)87%



※通学路点検による要対策箇所及び事故危険区間はともに毎年更新されるが、いずれも2018年（平成30年）4月現在の数値を母数として目標設定する。

■実施事業例1

事業名	(一) 梨郷赤湯停車場線【竹原】歩道整備 なんりょうしだけらは (南陽市竹原 地内)
事業概要	一般県道梨郷赤湯停車場線は、山形県の基軸となる国道 113 号に接続しており、付近に工業団地や梨郷小学校を抱えるなど非常に交通量と歩行者の多い地点になっている。 このような状況の中、国道 113 号と梨郷赤湯停車場線に満足な歩道が設置されておらず、通学児童にとって非常に危険な状況であったため、歩行者の安全を確保するため、歩道整備を行うものである。 
R 5 整備内容	○歩道整備 L=290m (令和 5 年度供用) (整備前) W=4.0(5.0)[-]m (整備後) W=6.0(8.5)[13.5]m  ➡ 

■達成状況と今後の取組み

【令和 5 年度における達成状況】

路線名	箇所名（工区）	事業内容	中期計画※	備考
（一）梨郷赤湯停車場線	竹原工区	歩道整備		事例 1
（一）口田沢川西線	上奥田工区	歩道整備		
（主）寒河江村山線	中河原工区	歩道整備		

など

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※	備考
〔村山地域〕				
（一）十日町山形線	山形市飯田	歩道整備	村山⑩	
（一）樽石碁点線	村山市長善寺（2）	歩道整備	村山⑪	
（主）山形朝日線	山辺町山辺	歩道整備	村山⑫	
（主）寒河江西川線	寒河江市洲崎（3）	歩道整備	村山⑭	

など

〔最上地域〕

（国）344 号	真室川町大沢（田郎）	歩道整備	最上⑨	
（一）泉田新庄線	新庄市太田踏切	歩道整備	最上⑩	

など

〔置賜地域〕

（国）287 号	白鷹町菖蒲（1）	歩道整備	置賜⑩	
----------	----------	------	-----	--

など

〔庄内地域〕

（国）112 号	酒田市本町	歩道整備	庄内⑪	
----------	-------	------	-----	--

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

施策6

予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

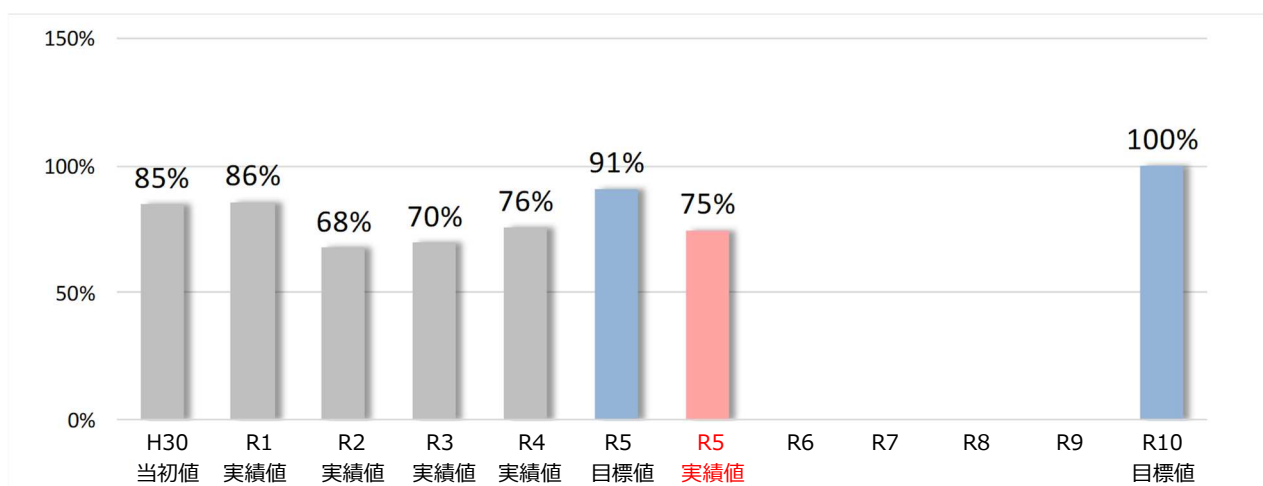
■取組方針

- i) 高度成長期に集中的に整備した橋梁の長期的な維持管理コスト縮減、予算の平準化を推進
- ii) トンネル等大型構造物について、定期点検を実施し、効果的・効率的な維持管理を実施
- iii) 舗装、雪寒施設等の道路施設について、計画的な維持管理を実施
- iv) 建設業界においても深刻化している高齢化や担い手不足下であっても、道路の適切な日常管理や除雪、災害対応等による円滑な交通を確保するため、AI 等のデジタル技術を活かした維持管理の省力化・効率化を推進
- v) 地域や企業、NPO 等の力を活かした県民協働による効率的な維持管理を実施

■指標

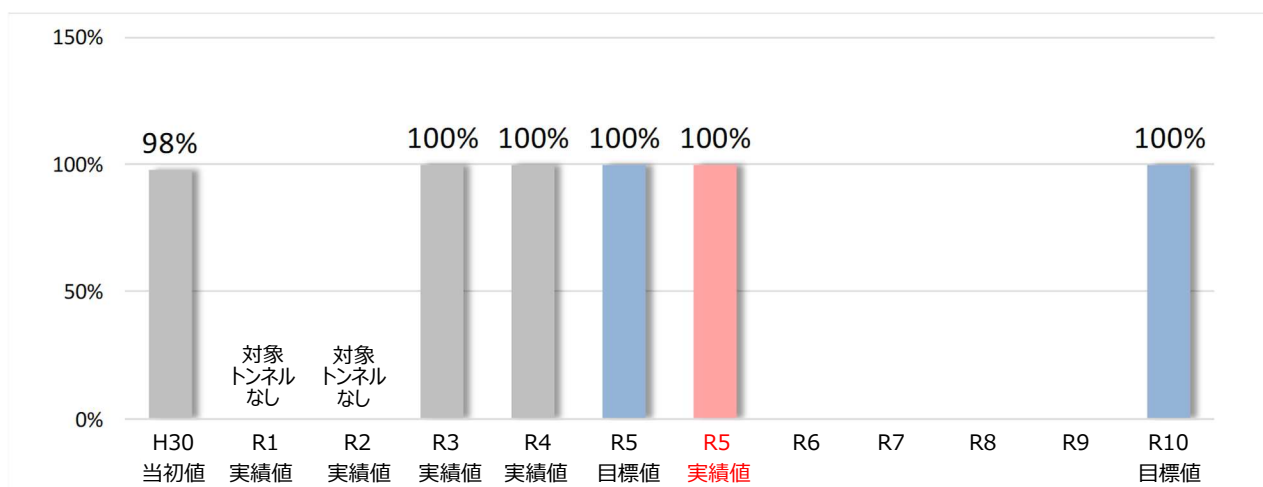
指標(12) 健全度が低い橋の対策率※

(R4)76% ⇒ (R5)75%



指標(13) 健全度が低いトンネルの対策率※

(R4)100% ⇒ (R5)100%



※各年度の点検結果に基づく対策率として診断後5年での対策率100%を毎年の目標に設定

R2の成果については、H27の点検において対策が必要とされたトンネルがなかったことから、対象なしとしている。

■実施事業例1 【健全度の低い橋の対策】

事業名	(主) 菅野代堅苔沢線【巻淵橋】 橋梁補修 つるおかしすがのだい 鶴岡市菅野代 地内
事業概要	主要地方道菅野代堅苔沢線は、鶴岡市菅野代から堅苔沢を結ぶ県道である。 本橋は、点検により伸縮装置や床版の劣化がみられたことから、橋面防水、伸縮装置の交換などを行うことで、橋梁の長寿命化を図るものである。 
R5 整備内容	○橋面防水設置、床版断面補修、防護柵・高欄交換など (令和5年度対策完了) (整備前)  (整備後) 伸縮装置交換  (整備前)  (整備後) 床版断面補修  ※舗装前写真

■実施事業例2 【健全度の低い橋の対策】

事業名	(主) 舟形大蔵線【長者原橋】 橋梁補修 舟形町大字長者原 地内
事業概要	主要地方道舟形大蔵線は、山形県最上郡舟形町から最上郡大蔵村に至る県道である。 本橋は、点検により床版や排水装置に劣化が見られたことから、橋面防水や排水装置の交換などを行うことで、橋梁の長寿命化を図るものである。 
R5 整備内容	○橋面防水、排水装置補修など (令和5年度対策完了) (整備前)  (整備後) 橋面防水工事  (整備前)  (整備後) 排水装置補修 

■達成状況と今後の取組み

【令和 5 年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	中期計画※	備考
（主）菅野代堅苔沢線	鶴岡市菅野代	橋梁補修		事例 1
（主）舟形大蔵線	舟形町大字長者原	橋梁補修		事例 2

など

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※	備考
〔村山地域〕				
（主）山形山寺線	山形市荒谷	荒谷橋架替	村山⑱	
（主）山形山寺線	山形市十文字	高瀬川橋架替	村山⑲	
（主）大江西川線	大江町月布	月布橋架替	村山⑳	

など

〔最上地域〕

（一）平田鮭川線	鮭川村佐渡	鮭川橋補修	最上⑫	
（一）最上西公園線	最上町大堀	白山橋架替	最上⑬	

など

〔置賜地域〕

（主）長井白鷹線	白鷹町鮎貝～荒砥	荒砥橋架替	置賜⑭	
（一）板谷米沢停車場線	米沢市大町	相生橋架替	置賜⑮	

など

〔庄内地域〕

（国）345 号	鶴岡市大宝寺	三川橋補修	庄内⑫	
（国）112 号	酒田市本町	実生橋架替	庄内⑬	

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

3 既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり

施策7 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

■取組方針

- i) 一般国道や主要な県道において道路の改築・拡幅やバイパスの整備を推進
- ii) 地域の実情に応じた効率的な整備を推進(交通量の少ない道路の部分的な拡幅や待避所の設置、屈曲部の視距改良など)

■指標

指標(14) 緊急医療機関へ新たに10分でアクセスが可能になる人口

(R4)0人 ⇒ (R5)7,200人



指標(15) 冬の円滑な交通が確保された堆雪幅のある道路延長

(R4)725km ⇒ (R5)736km



■実施事業例 1 【冬期の円滑な交通を確保するための道路整備】

事業名	(国) 287 号【杉山（2）工区】道路改良 にしおいきたまぐんしらたかまちおおせ にしむらやまぐんあさひまちすぎやま (西置賜郡白鷹町大瀬～西村山郡朝日町杉山 地内)
事業概要	国道 287 号は、米沢市を起点とし長井市・白鷹町・寒河江市を經由し東根市を終点とする一般国道である。 本事業区間は、車道幅員が 5.5m と狭いため大型車同士のすれ違いが困難な状況であった。また、歩道が未整備であるため、歩行者及び自転車利用者は危険を強いられていた。当該区間を整備することにより、冬期においても安心して通行のできる道路となり、歩行者及び自転車利用者の安全確保にも寄与するものである。 
R5 整備内容	○車道拡幅、歩道整備 L=480m（令和 5 年度供用） （整備前）W=5.5(7.0)[-]m （整備後）W=6.5(9.5)[12.0]m  ➡  車道幅員狭小、歩道無し

■実施事業例 2 【冬期の円滑な交通を確保するための道路整備】

事業名	(一) 角沢鳥越線【角沢工区】道路改良 (新庄市角沢 地内)
事業概要	一般県道角沢鳥越線は、山形県新庄市大字角沢地区から大字鳥越地区を結ぶ県道である。本事業区間は、車道幅員が 5.0mと狭く大型車のすれ違いが困難であり、特に冬期間は積雪により道路幅員が一段と狭まる現状である。このため、本事業では、道路を拡幅することにより、安全・安心な道路空間を確保するものである。  (一)角沢鳥越線 【角沢工区】道路改良
R5 整備内容	○車道拡幅 L=950m (整備前) W=4.0(5.0)m (整備後) W=6.0(9.0)m  ➡  車道幅員狭小

■達成状況と今後の取組み

【令和 5 年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	中期計画※	備考
（国）287 号	杉山（2）工区	道路改良		事例 1
（一）角沢鳥越線	角沢工区	道路改良		事例 2

など

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※	備考
〔村山地域〕				
（国）458 号	中山町金沢	道路改築	村山②③	
（一）東山七浦線	山形市風間	道路改築	村山②④	

など

〔最上地域〕

（主）新庄戸沢線	新庄市升形	踏切立体化（下馬踏切）	最上⑭	
（主）真室川鮭川線	鮭川村佐渡坂	道路改築	最上⑮	
（一）砂子沢小又釜淵線	真室川町小又	道路改築	最上⑯	
（主）真室川鮭川線	真室川町釜淵	視距改良	最上⑰	
（一）東法田大堀線	最上町野頭	道路改築	最上⑱	

など

〔置賜地域〕

（主）山形南陽線	南陽市板宮	道路改築	置賜⑯	
（一）米沢環状線	米沢市本町	道路改築	置賜⑰	
（主）米沢飯豊線	川西町菅沼峠	道路改築	置賜⑱	

など

〔庄内地域〕

（国）344 号	酒田市安田	安田バイパス	庄内⑭	
（主）菅野代堅苔沢線	鶴岡市山五十川（1）	道路改築	庄内⑯	

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

施策8

街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進

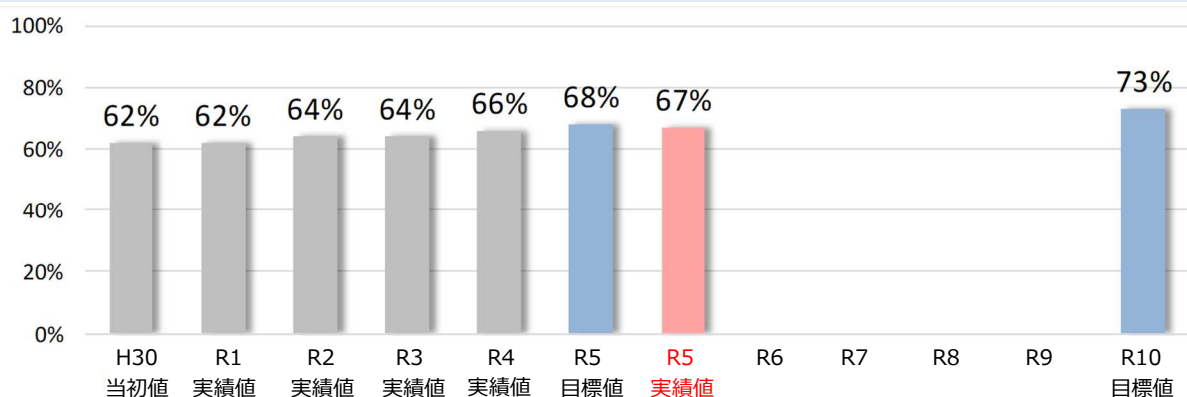
■取組方針

- i) 都市部における街路事業の整備を推進
- ii) 良好な景観を創出する無電柱化や賑わい空間形成に向けた取組を推進
- iii) バイパスの整備や交差点改良等による渋滞対策を推進するとともに、最新データや地域の実際の交通状況を踏まえ主要渋滞箇所の見直しを実施

■指標

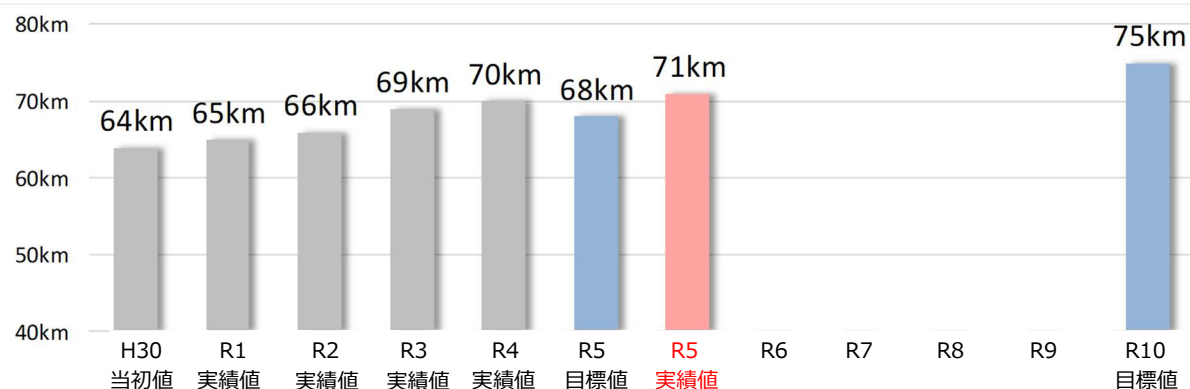
指標(16) 都市機能誘導区域・中心市街地活性化区域内の都市計画道路の整備率

(R4)66% ⇒ (R5)67%



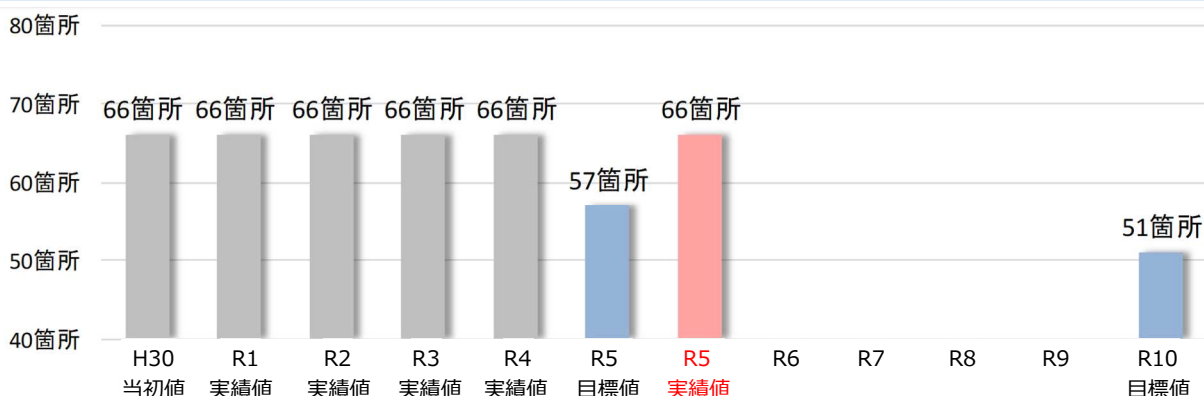
指標(17) 無電柱化の整備延長

(R4)70km ⇒ (R5)71km



指標(18) 市街地エリアにおける主要渋滞箇所数

(R4)66箇所 ⇒ (R5)66箇所



■実施事業例1 【無電柱化の整備】

事業名	(都) 道形黄金線【馬場町(1)】歩道整備・無電柱化 つるおかし ば ばちよう (鶴岡市馬場町 地内) (事業中)
事業概要	都市計画道路道形黄金線は、鶴岡市の環状線となる国道 112 号と国道 345 号を結び、市中心部を南北に縦断する都市幹線街路である。当該区間は、市役所や災害医療拠点である荘内病院へ直結する路線であることから、山形県地域防災計画において第 1 次緊急輸送道路に指定されており、防災上も重要な路線である。 本事業は、電線共同溝による無電柱化を行い、災害時における都市防災機能の向上を図るものである。また、朝陽第三小学校の通学路に指定されていることから、歩道整備などの安全対策を行うことで通学路の安全確保を図るものである。 
R 5 整備内容	○歩道整備・無電柱化 L=228m W=19m (車道両側に幅 4.5mの歩道を設置) (令和 5 年度一部供用) (整備前) W=6.0(10.9)[-]m  (整備後) W=6.5(10.0)[19.0]m 

■達成状況と今後の取組み

【令和 5 年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	中期計画※	備考
（都）道形黄金線	鶴岡市馬場町（１）	自歩道・無電柱化 【一部供用】	庄内⑱	事例 1

など

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※	備考
〔村山地域〕				
（都）旅籠町八日町線	山形市本町	４車線化・無電柱化	村山㉔	
（都）東原村木沢線	山形市木の実町	４車線化・無電柱化	村山㉕	
（主）上山蔵王公園線	山形市蔵王温泉（３）	歩道・無電柱化	村山㉖	

など

〔最上地域〕

（都）北本町飛田線	新庄市新町	自歩道・無電柱化	最上㉗	
-----------	-------	----------	-----	--

など

〔置賜地域〕

（都）赤湯停車場線	南陽市二色根	自歩道・無電柱化	置賜㉘	
（都）長井駅海田線	長井市栄町	自歩道・無電柱化	置賜㉙	

など

〔庄内地域〕

（都）道形黄金線	鶴岡市馬場町(1)	自歩道・無電柱化	庄内⑱	
（都）本町東大町線	酒田市本町（１）	自歩道・無電柱化	庄内⑲	

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

施策9

山形の特性を活かした道路ストック(施設)をかしこく使うみちづくりの推進

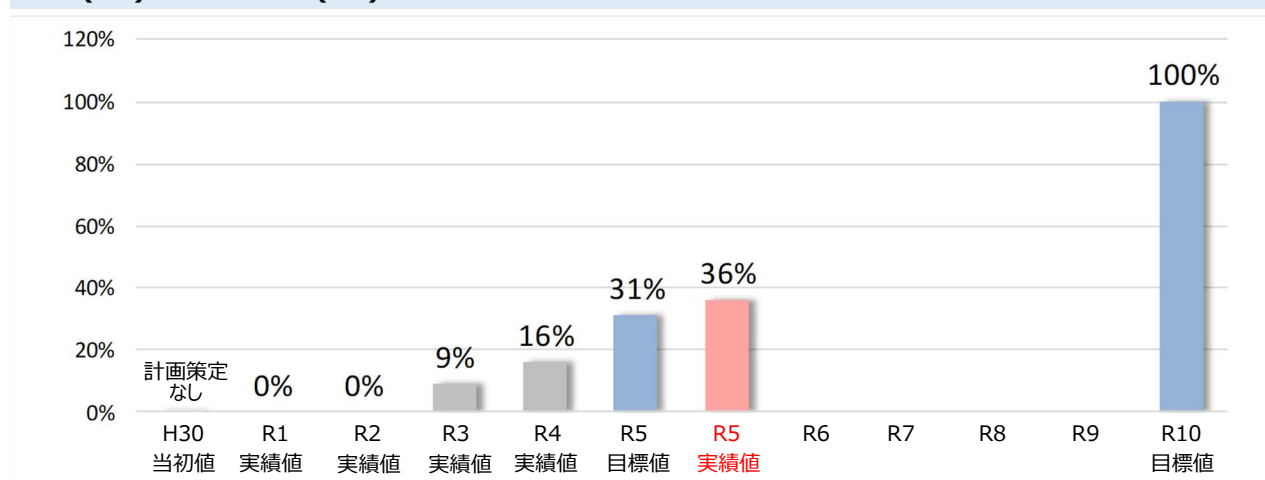
■取組方針

- i) 自転車ネットワーク計画を踏まえた自転車利用環境の整備に向け、自転車通行帯としても利用できる冬季の堆雪幅を確保した“山形らしい”みちづくりを推進
- ii) 県外・国外からの来訪者にも分かりやすい道路標識の整備を推進
- iii) プローブ情報を用いた渋滞対策・交通安全対策の検討及び実施

■指標

**指標(19) 県及び市町村の自転車ネットワーク計画に位置付けられた
県管理道路における自転車利用環境整備率**

(R4)16% ⇒ (R5)36%



※現時点ではネットワーク計画が策定されているのが山形県と寒河江市と山形市のみであるため、他市町村のネットワーク計画が策定された時点で、目標値の変更を行う予定。

■実施事業例1 【自転車利用環境整備】

事業名	山形自転車ネットワーク計画に基づく整備 自転車道整備 (一) 生石酒田停車場線 おいしかたていしやじようせん
事業概要	本事業は、「山形県自転車ネットワーク計画に基づく整備」による、自転車が安全で快適に通行できる環境（矢羽根施工、自転車道案内標識の設置）を整備するものである。 
R5 整備内容	○自転車道案内標識、矢羽根施工 (令和5年度対策完了) (整備前)  (整備後) 矢羽根施工  (整備前)  (整備後) 自転車道案内標識の設置 

■達成状況と今後の取組み

【令和 5 年度までの取組み】

山形県自転車活用推進計画の策定（第 1 次：R1.8、第 2 次：R4.3）

※山形県自転車ネットワーク計画は『第 2 次山形県自転車活用推進計画』の一部に位置付け

寒河江市自転車活用推進計画の策定（第 1 次：H31.3、第 2 次：R6.1）

山形市自転車活用推進計画の策定（R4.3）

【今後の取組み】

山形県自転車ネットワーク計画に基づく整備

寒河江市自転車ネットワーク計画に基づく整備

山形市自転車ネットワーク計画に基づく整備

3 総括

■山形県道路中期計画指標 令和5年度の達成状況

- 19の指標のうち、15の指標で前年度からの進捗が見られた。
- また、R5年度末目標値について、19の指標のうち、14の指標で目標を達成した。
- その他の指標については、前年度から変化がないものもあるが、高規格道路の多くの区間が事業中であり、今後開通することで効果が表れることが期待されるため、目標値の達成に向け概ね予定通り事業が進捗していると判断できる。
- 今年度についても、R10年度末目標値の達成に向け、事業進捗を図る。

■山形県道路中期計画指標 R5年度達成状況

9つのみちづくり施策		指標名	当初値 ※H30年度末	R3実績値 (前年からの変化)	R4実績値 (前年からの変化)	R5実績値 (前年からの変化)	中間目標値 ※R5年度末	目標値 ※R10年度末
1	県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手	(1) 高速道路の供用延長（供用率）	259km (76%)	269km (79%) (+5km、1%)	286km (84%) (+17km、5%)	293km (86%) (+7km、2%)	293km (86%)	320km (94%)
		(2) 地域高規格道路の供用延長（供用率）	29km (29%)	29km (29%) (変化なし)	29km (29%) (変化なし)	36km (36%) (+7%)	42km (42%)	56km (56%)
2	広域道路ネットワークを活かす追加IC（スマートIC含む）及びICや拠点へのアクセス道路の整備推進	(3) ICへ30分でアクセスできる人口の割合	65%	65% (変化なし)	73% (+8%)	73% (+8%)	73%	97%
		(4) ICへ10分でアクセスできる工業団地数	35箇所	35箇所 (変化なし)	41箇所 (+6箇所)	44箇所 (+3箇所)	43箇所	65箇所
		(5) ICへ30分でアクセスできる主要な観光地数	59箇所	59箇所 (変化なし)	82箇所 (+23箇所)	82箇所 (+23箇所)	79箇所	109箇所
3	高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援	(6) 山形らしい魅力のある「やまがた道の駅」数	21駅	21駅 (変化なし)	21駅 (変化なし)	23駅 (+2駅)	22駅	30駅
		(7) 防災拠点機能を備えた「道の駅」数	4駅	6駅 (変化なし)	6駅 (変化なし)	7駅 (+1駅)	7駅	10駅
4	防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化	(8) 緊急輸送道路における橋梁耐震化率	96%	98% (+1%)	98% (変化なし)	98% (変化なし)	99%	100%
		(9) 重要インフラ緊急点検による要対策箇所の対策率	-	45% (+11%)	53% (+8%)	65% (+12%)	65%	100%
5	人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進	(10) 通学路点検による要対策箇所の対策率	20%	55% (+4%)	69% (+14%)	84% (+15%)	80%	100%
		(11) 事故危険区間の対策率	25%	68% (+6%)	77% (+9%)	87% (+10%)	87%	100%
6	予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進	(12) 健全度が低い橋の対策率	85%	70% (+2%)	76% (+6%)	75% (-1%)	91%	100%
		(13) 健全度が低いトンネルの対策率	98%	100% (+100%)	100% (変化なし)	100% (変化なし)	100%	100%
7	生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進	(14) 救急医療機関へ新たに10分でアクセスが可能になる人口	-	0人 (変化なし)	0人 (変化なし)	7,200人 (+7,200人)	7,000人	7,000人
		(15) 冬季の円滑な交通が確保された堆雪幅のある道路延長	703km	720km (+3km)	725km (+5km)	736km (+11km)	729km	755km
8	街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進	(16) 都市機能誘導区域・中心市街地活性化区域内の都市計画道路の整備率	62%	64% (変化なし)	66% (+2%)	67% (+1%)	68%	73%
		(17) 無電柱化の整備延長	64km	69km (+3km)	70km (+1km)	71km (+1km)	68km	75km
		(18) 市街地エリアにおける主要渋滞箇所数	66箇所	66箇所 (変化なし)	66箇所 (変化なし)	66箇所 (変化なし)	57箇所	51箇所
9	山形の特性を活かした道路ストック（施設）をかしこく使うみちづくりの推進	(19) 県及び市町村の自転車ネットワーク計画に位置付けられた県管理道路における自転車利用環境整備率	-	9% (+9%)	16% (+7%)	36% (+20%)	31%	100%

令和6年7月25 日からの大雨による 被害概要等

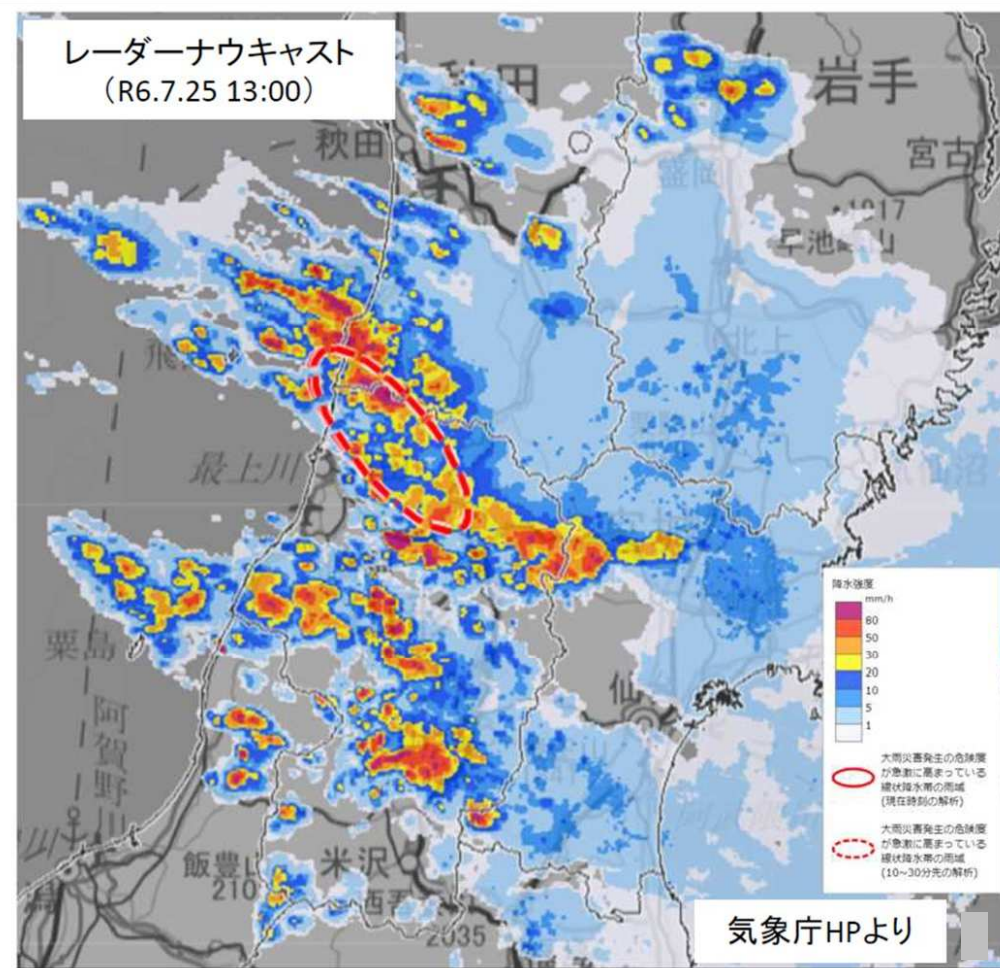
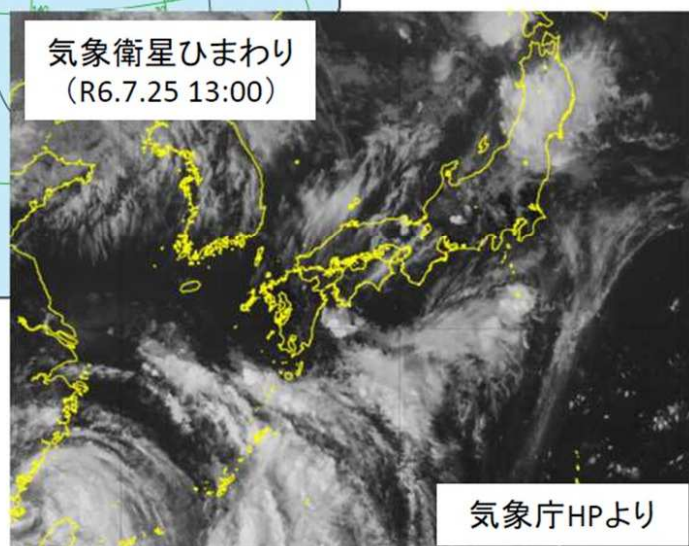
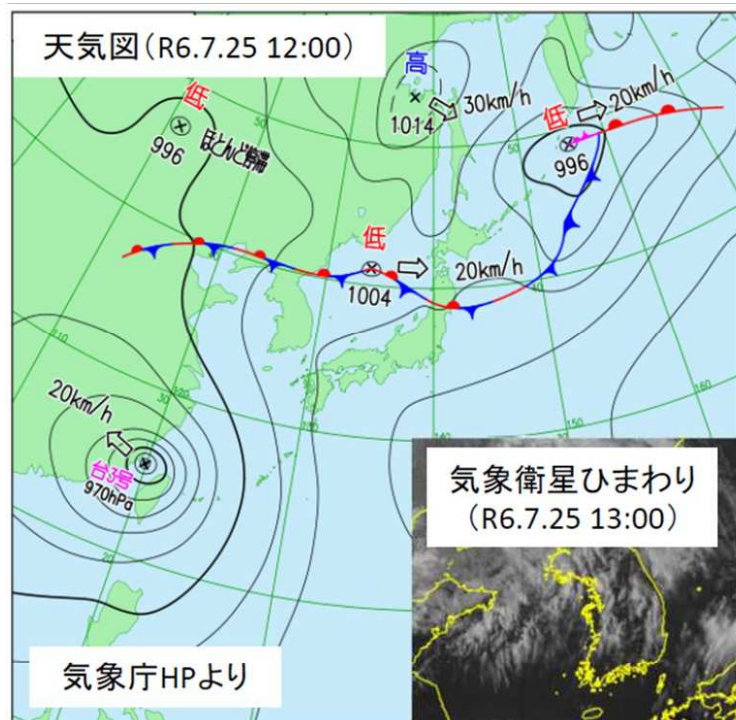
目次

1. 令和6年7月25日からの大雨の概要
2. 道路等の被害状況
3. 応急復旧状況
4. 交通規制状況
5. 今後の予定

令和7年1月27日
山形県県土整備部

1-1. 令和6年7月25日からの大雨の概要

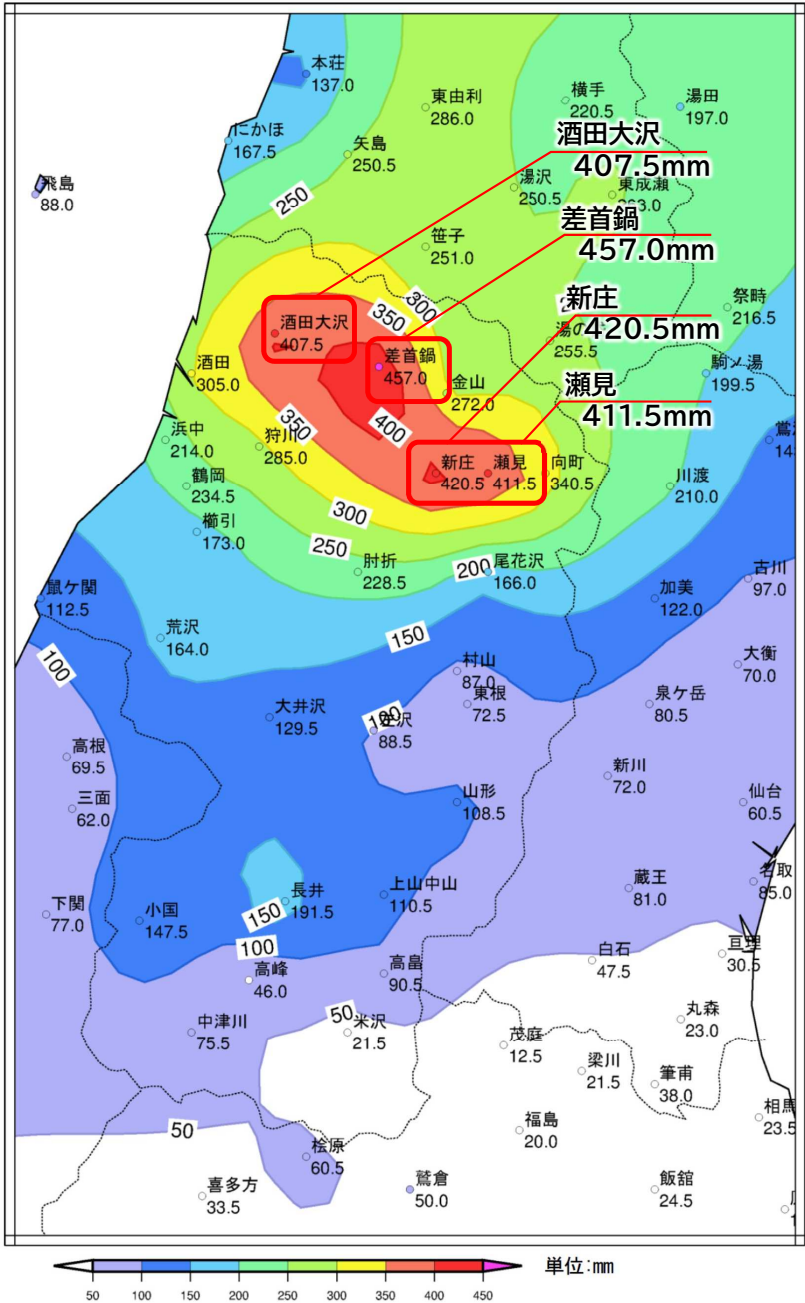
- **記録的短時間大雨情報発表（計2回）**
山形県（酒田市（南部）、酒田市（北部））
- **線状降水帯発生（計2回）**
山形県（村山市、庄内町、最上町）
- **大雨特別警報（計2回）**
山形県（酒田市、遊佐町、庄内町、新庄市、舟形町、鮭川村、戸沢村）



1-2. 令和6年7月25日からの大雨の概要

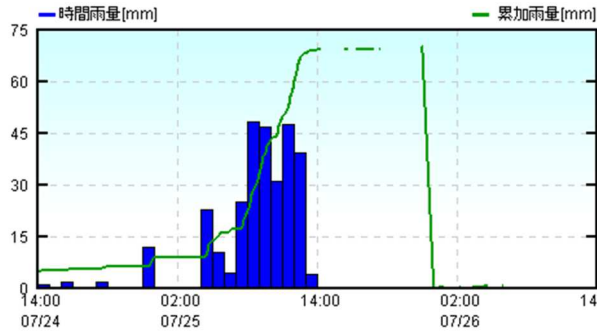
○総雨量分布図

24日00時～27日24時

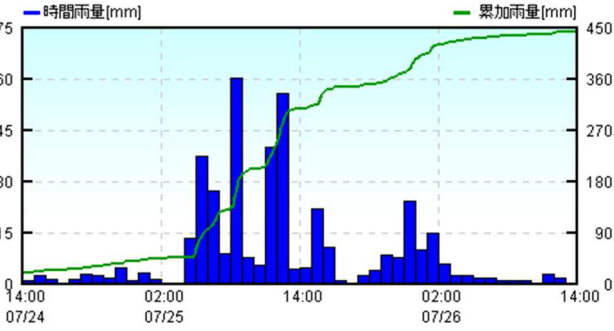


(出典) 気象庁資料より

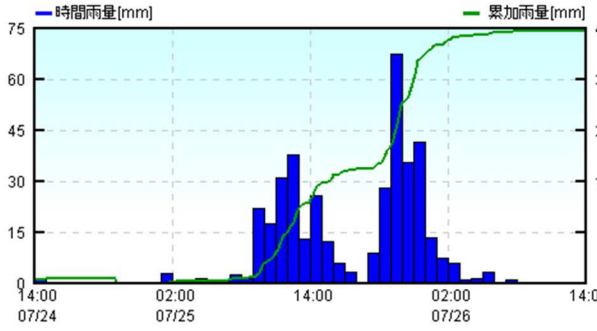
○酒田大沢雨量局(酒田市大沢:気象庁)



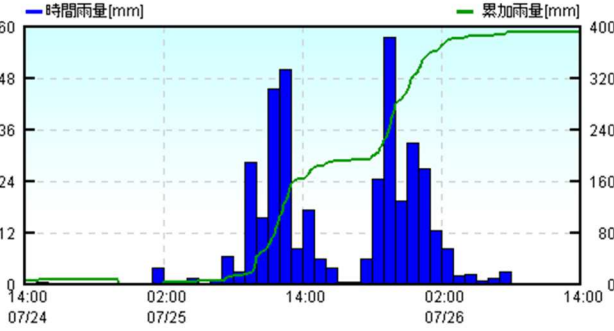
○差首鍋雨量局(真室川町差首鍋:気象庁)



○新庄雨量局(新庄市東谷地田町:気象庁)



○瀨見雨量局(最上町大堀:気象庁)



(出典) 山形県河川砂防情報システムより

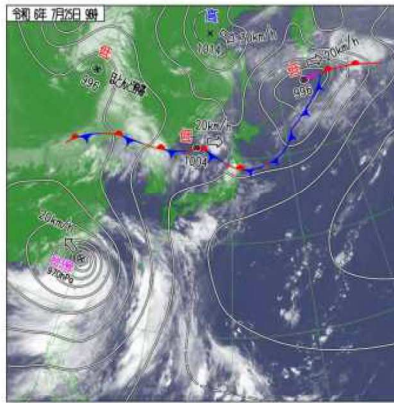
○降雨記録を更新した観測局および観測値

48 時間降水量

市町村	観測地点	更新した値		これまでの1位の値		統計開始年
		mm	日時	mm	年月日	
酒田市	酒田	304.0	26日05時30分	252.0	2011年06月25日	1976年
真室川町	差首鍋	434.5	26日06時20分	302.5	2011年06月24日	1976年
鶴岡市	鶴岡	234.5	26日05時40分	223.0	2011年06月25日	1976年
新庄市	新庄	402.5	26日07時10分	268.5	2018年08月07日	1976年
最上町	瀨見	396.0	26日07時00分	311.0	2018年08月07日	1976年
最上町	向町	334.5	26日07時10分	265.5	2018年08月07日	1976年

(出典) 気象庁資料より

1-3. 令和6年7月25日からの大雨の概要（大雨特別警報）



地上天気図（7月25日9時）

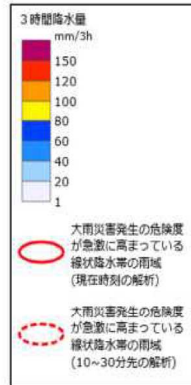
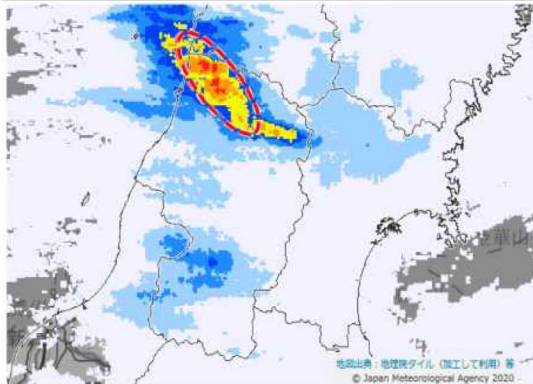
大雨特別警報

■山形県 酒田市 遊佐町
（7月25日13時07分発表
⇒7月25日20時15分解除）

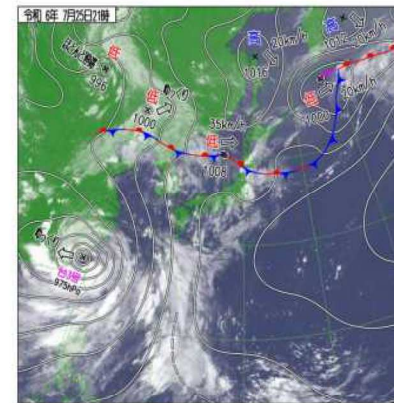
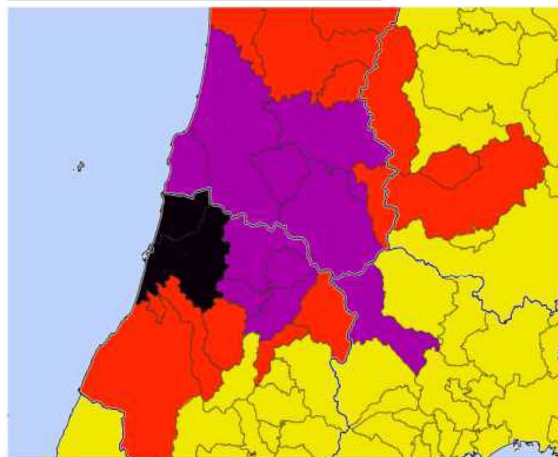
顕著な大雨に関する気象情報 〈線状降水帯〉

■山形県 庄内 最上
（令和6年7月25日13時07分）

3時間降水量（2024年7月25日13時00分）



2024年7月25日13時14分現在



地上天気図（7月25日21時）

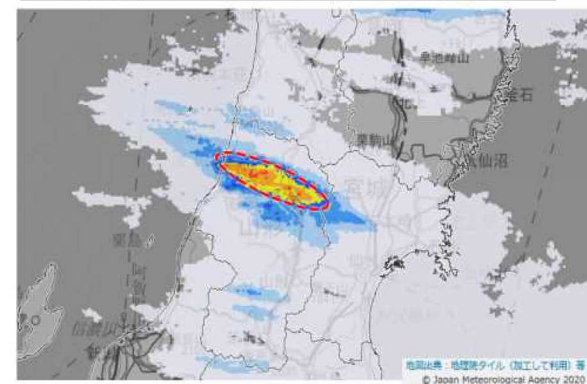
大雨特別警報

■山形県 酒田市 庄内町 新庄市
舟形町 鮭川村 戸沢村
（7月25日23時40分発表
⇒7月26日5時15分解除）

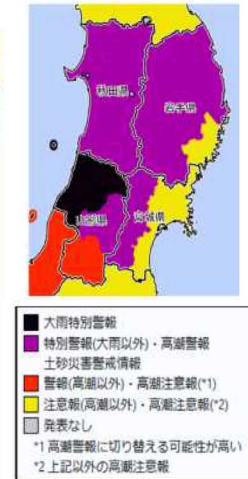
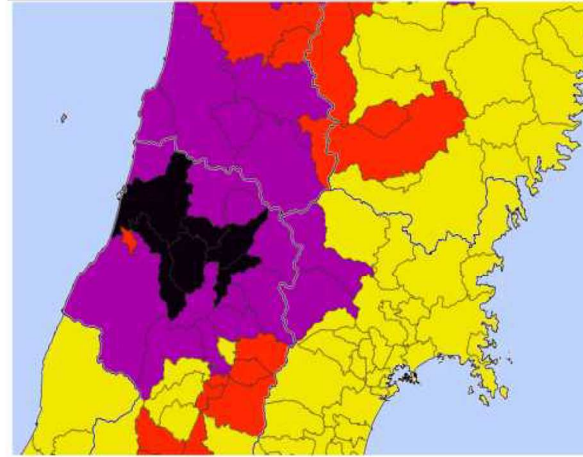
顕著な大雨に関する気象情報 〈線状降水帯〉

■山形県 庄内 最上
（令和6年7月25日22時47分）

3時間降水量（2024年7月25日22時50分）



2024年7月25日23時40分現在



2-1. 道路等の被害状況（県全体）

最上、庄内地域を中心に、道路の崩落、道路橋の流失等の被害が発生した。
令和6年7月豪雨による**公共土木被害規模は約755億円**となり、令和4年8月豪雨を上回り、記録が残る限り、本県の風水害では**過去最大の被害規模**となった。

- (人的被害) 死者3人（酒田市1、新庄市2）
軽傷4人（舟形町1、新庄市3）
- (建物被害) (住家・非住家) 2,565戸（全壊20、半壊526、一部損壊2、浸水2,017）
- (施設被害等) 道路 650箇所 ※県管理道路
河川 1,053箇所 ※県管理河川
その他 砂防施設、下水道、都市公園の被害あり
- (通行規制) 国管理道路、高速道路 全面通行止め 20箇所
県管理道路 116箇所（全止112、片側3、歩道規制1）
- (全体被害額) 約755億 ※道路、河川、砂防、上下水道被害

※令和6年12月23日現在

道路被害状況



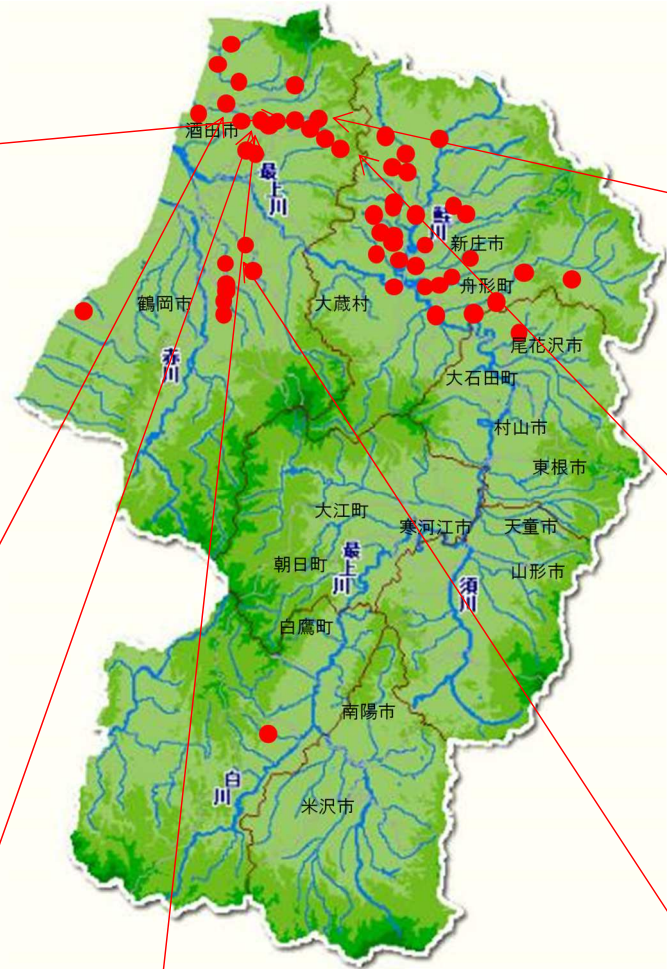
河川被害状況



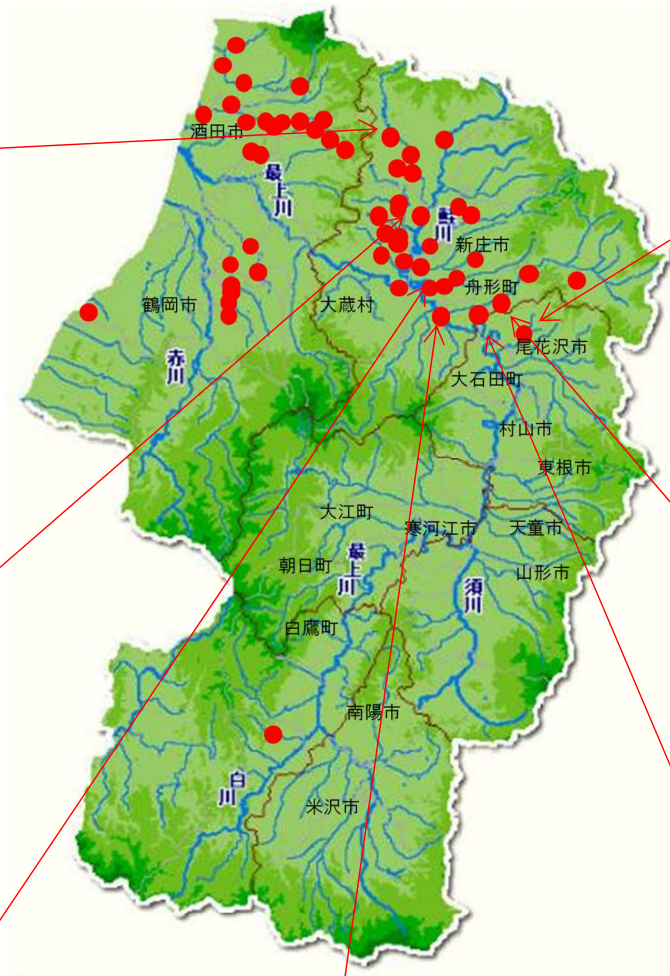
砂防被害状況



2-2. 道路等の被害状況（道路・河川・砂防の主な被害状況：庄内地域）



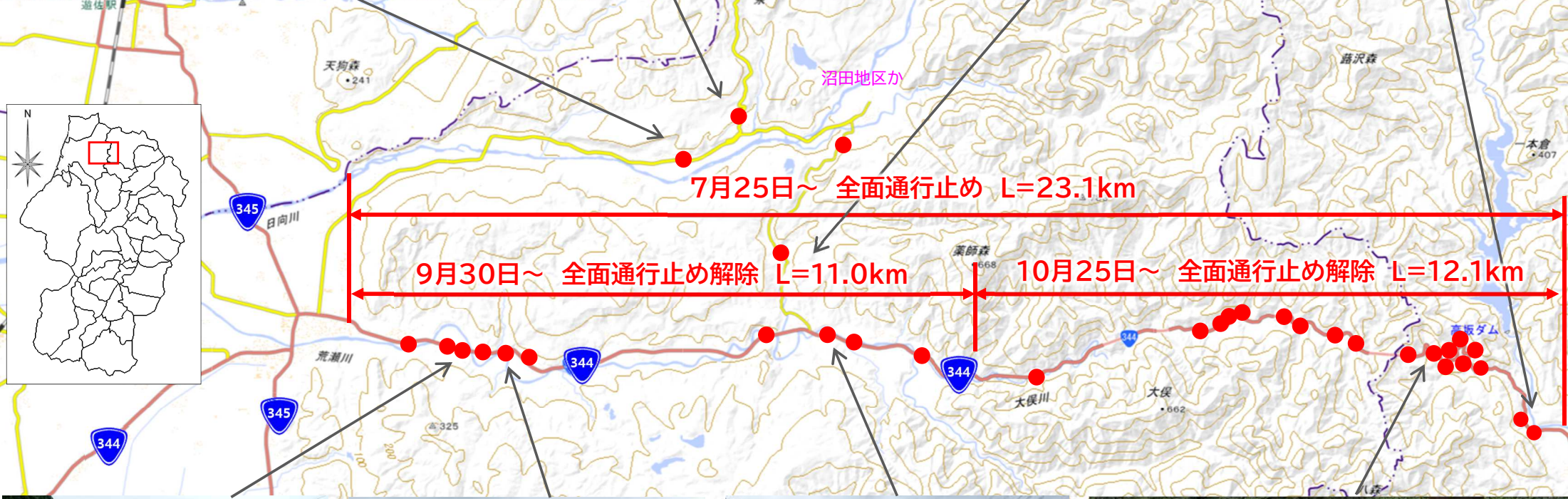
2-3. 道路等の被害状況（道路・河川・砂防の主な被害状況：最上地域ほか）



2-4. 道路等の被害状況（荒瀬川）



2-5. 道路等の被害状況（国道344号等）



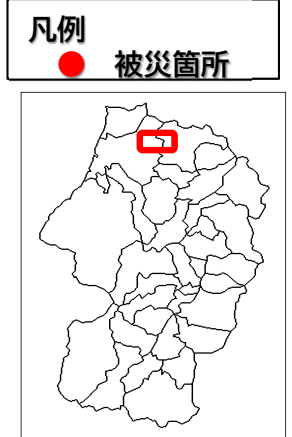
3. 応急復旧状況（国道344号（酒田市北青沢～真室川町差首鍋））

県民生活への影響の大きい箇所については、国土交通省と協議のうえ、災害査定を待たずに復旧工事に着手している。

①道路崩落箇所の対応状況



国道地理院地図 GSI Mapsより



②法面崩落箇所の対応状況



③雪崩予防柵等崩落箇所の対応状況

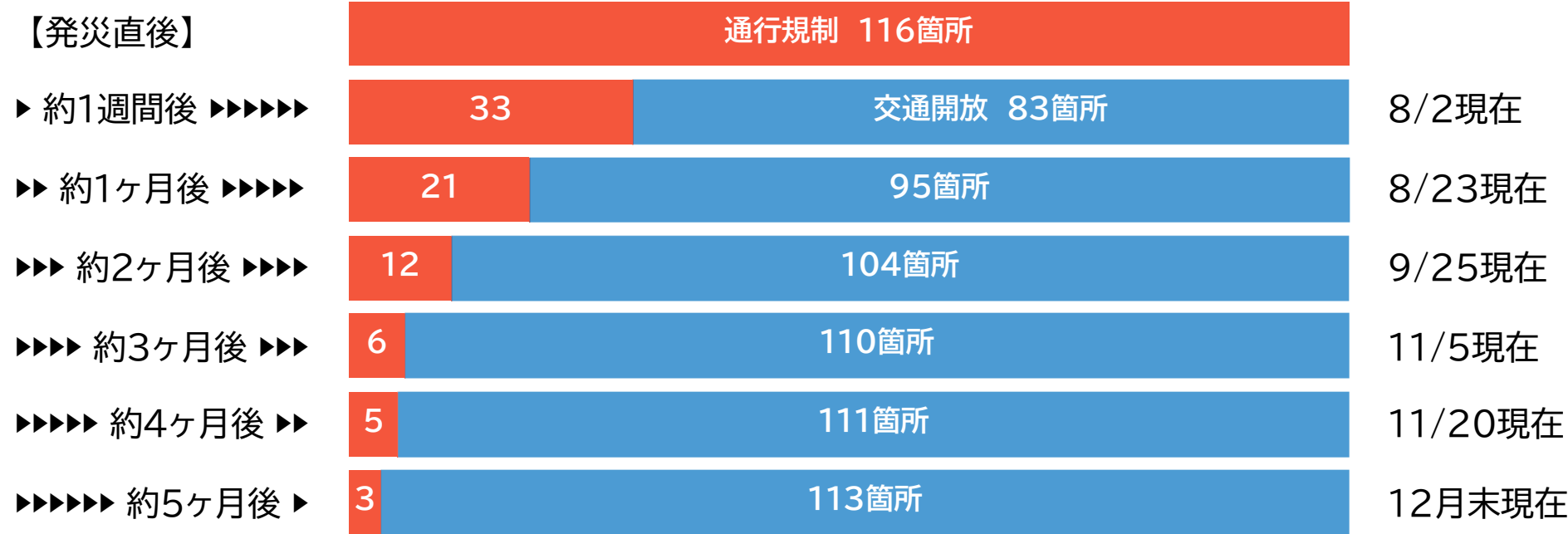


④土砂流入箇所の対応状況



4-1. 交通規制状況

今回の大雨では、延べ116 箇所で交通規制を実施したが、道路啓開・応急対策に努め、現在のところ、全面通行止めは3 箇所となっている。

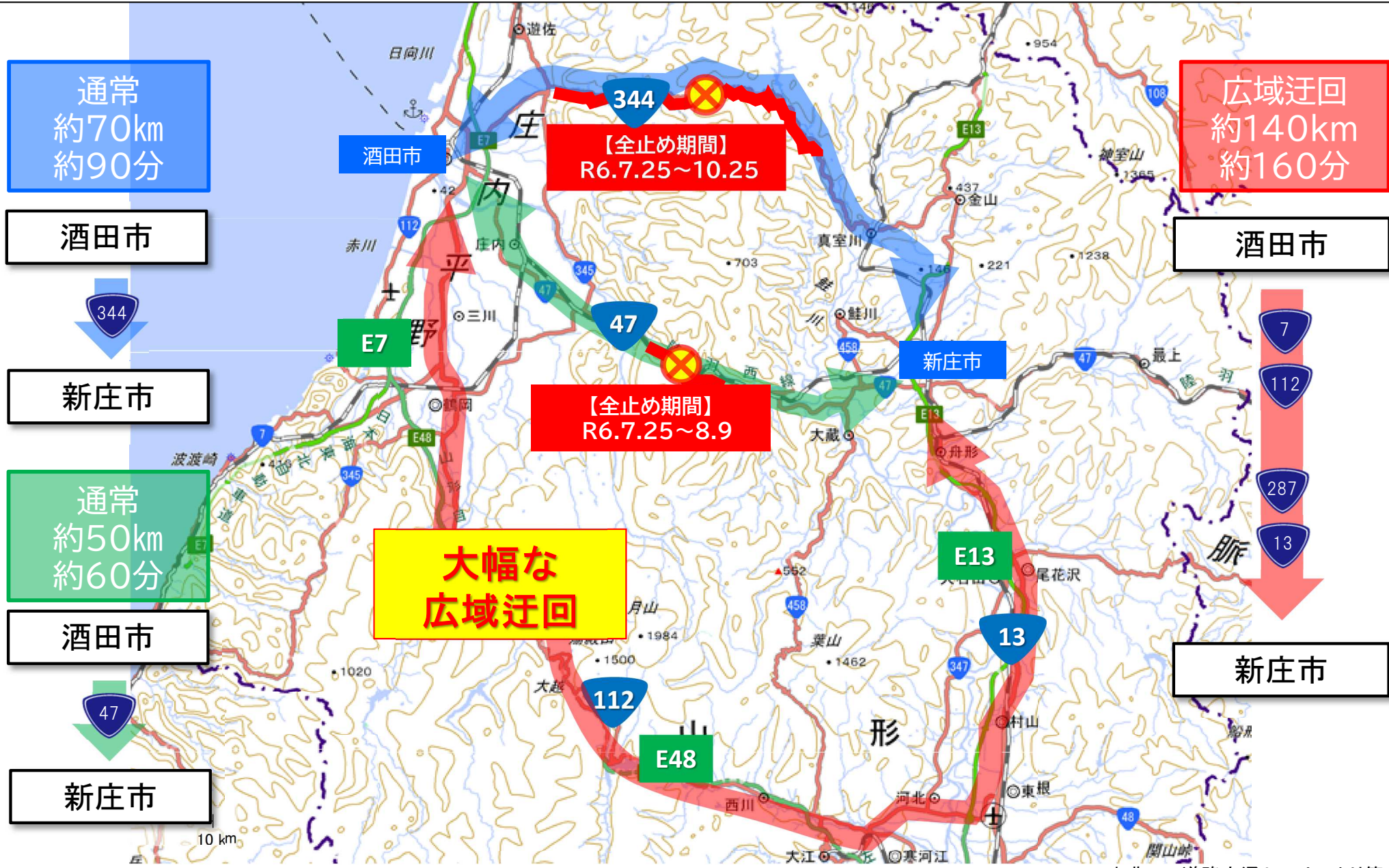


※道路啓開・応急復旧を実施し交通規制解除した後、冬期閉鎖した箇所を含む



4-2. 交通規制状況（国道344号等）

今回の大雨では、国道47号および国道344号等で通行止めとなったため、庄内～最上間の移動では大幅な広域迂回が必要となった。



5. 今後の対応

令和6年12月までに約1,000箇所（市町村分も含む）の災害査定が完了。
引き続き、復旧工事の早期完了を目指し、県民の皆さんの安全安心の確保に努めていく。

災害発生



災害査定



応急復旧



復旧工事・完成



※災害復旧イメージ

山形県道路空間 3次元点群データプラットフォームについて

令和7年1月27日

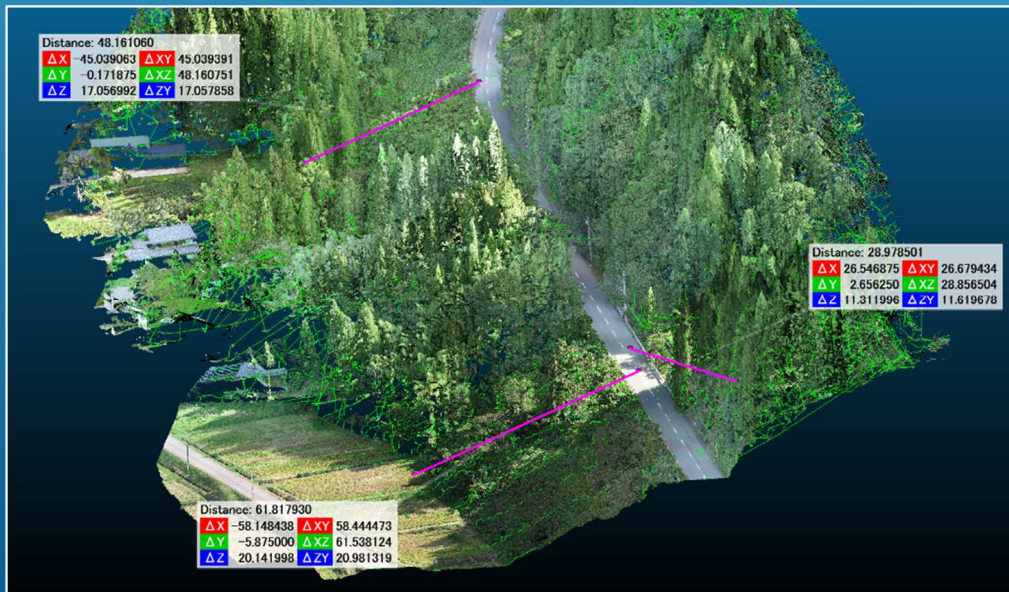
山形県 県土整備部 道路保全課

1. 3次元点群データプラットフォーム導入事業の目的

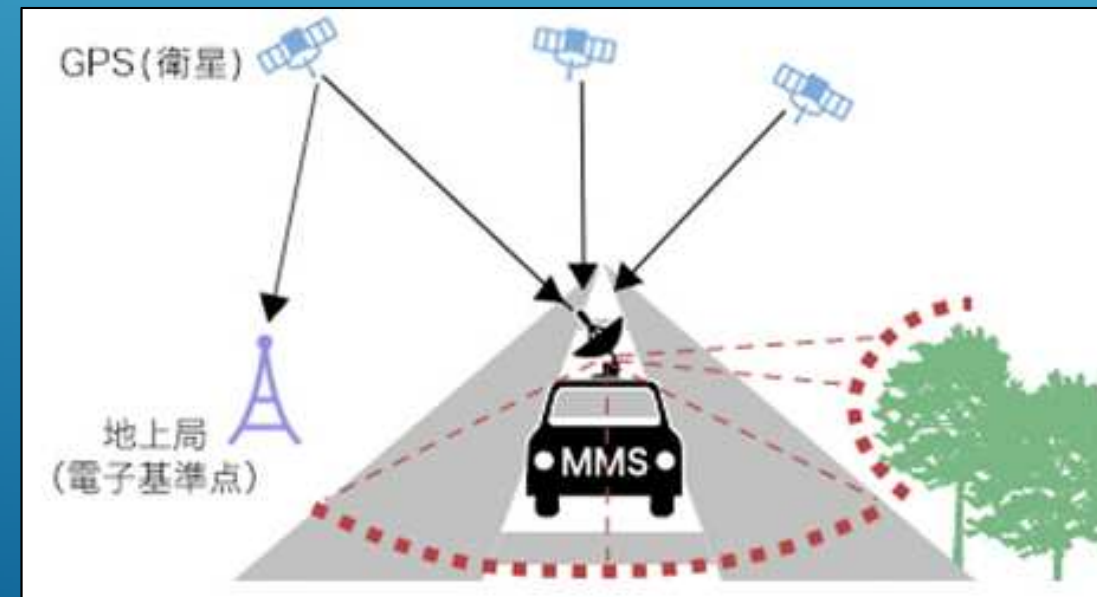
山形県の建設業界では、人手不足と高齢化が深刻な課題となっているうえ、老朽化が進むインフラ施設への対応や、異常気象により頻発する災害への対応が必要なため、直ちに業務を効率化する必要がある。

一方でレーザー計測等により取得される3次元点群データは、計画、設計、施工から維持管理の場面において必要となる現場測量の手間を大幅に縮減させることのできる技術であり、業務の効率化や作業時の安全性の向上等の効果が期待される。

このため県では、3次元点群データを多くの人が活用できる環境整備を行う。



道路空間における3次元点群データの例（国道345号鶴岡市坂野下）



3次元点群データの取得イメージ（朝日航洋株式会社HPより）

2. 令和6年度の作業状況

- ・ 県管理道路の3次元点群データを公開予定（砂利道区間除く）
- ・ いつでも、だれでもダウンロード可能なオープンデータとする
- ・ MMSデータを基本としつつ、道路土工構造物点検対象箇所はULSでデータ取得
- ・ R4年、R5年に舗装点検用に取得したMMSデータも活用

県道 2863 km分
盛土・法面963箇所
点群100～400点/m²

令和6年度中に公開



プラットフォーム



実際に取得した点群データ例



MMS : 400点/m²以上
(道路空間)



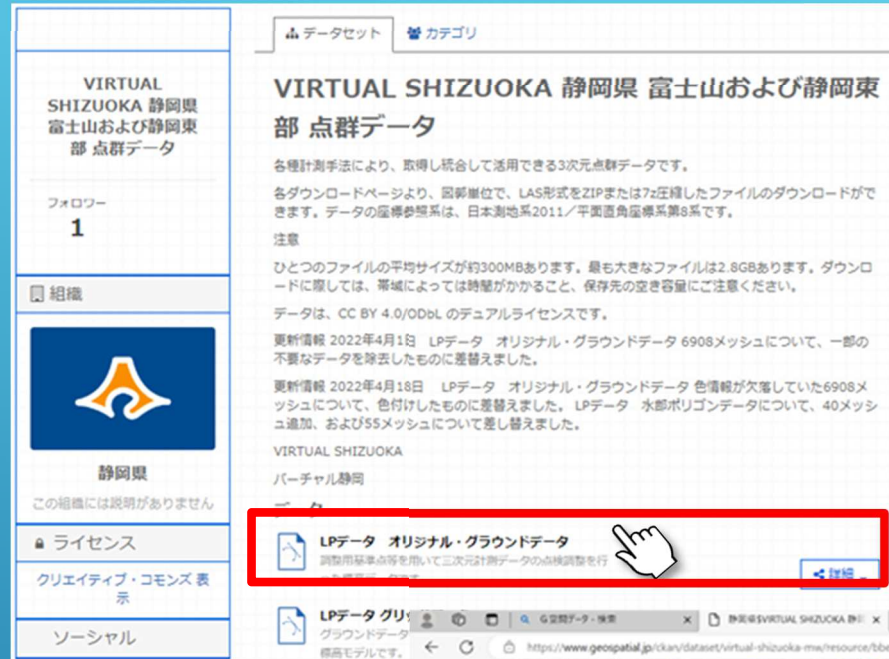
ULS : 100点/m²以上
(盛土・法面)



LIDAR SLAM
(飛島で活躍)

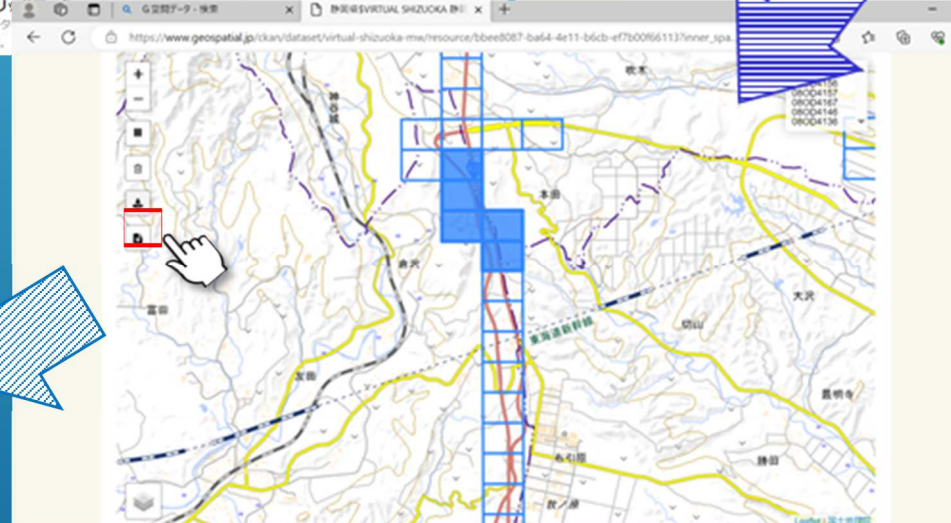
3. プラットフォームのイメージ

G 区間情報センター（※）のプラットフォームを利用



2次元地図で場所を探し

ダウンロードが完了



欲しい図郭を選択する

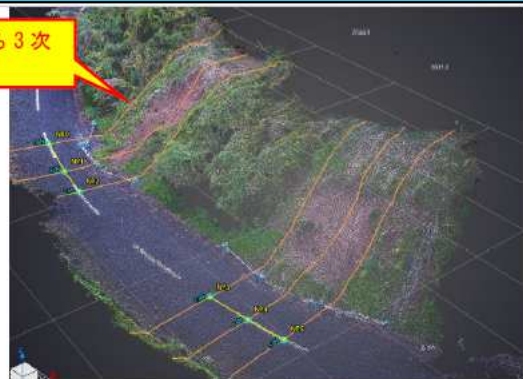
（※）国土地理院などの各府省、民間各社及び各学術機関等の協働により構築したプラットフォーム
利用者がワンストップで検索・ダウンロードし利用できる、産学官の地理空間情報プラットフォーム

4. 点群データの活用事例

災害復旧事業への活用

災害復旧事業におけるデジタル技術活用の手引き（案）
令和5年7月国土交通省水管理・国土保全局防災課

ドローン測量から3次元データを作成



ドローンのオルソ画像を利用し平面図作成



3次元モデルから各横断面図を迅速に作成



- ・既存のデータと重ね合わせる事で被害ボリュームを把握
→被災状況の共有化が容易に
- ・被災箇所の周辺部はプラットフォームからダウンロード
→現場作業の省力化、測り直し手間の軽減

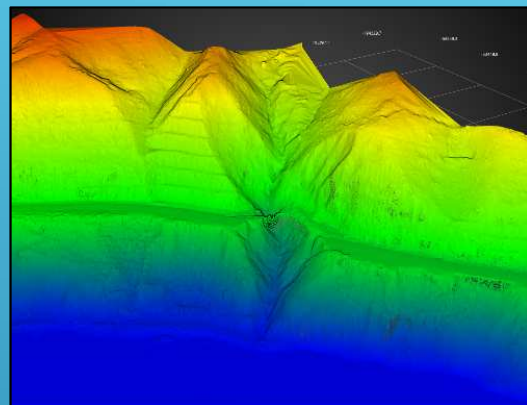
点検業務への活用

三次元点群データを活用した道路斜面災害リスク箇所の抽出要領（案）

防災カルテ 様式(A)										地整・都道府県名		中部地方整備局		
										管理機関名		飯田国道事務所		
										管理機関コード		8571800		
点検対象項目	地すべり			路線名	一般国道153号			距離(自)	82.89	(至)	83.15	上(下)・他	延長	260 m
道路種別	一般国道(指定区間)			現況区分	現道			所在地	長野県下伊那郡根羽村			位置目印	距離標識	
有(通行・特殊)	(無)			規制基準	連続			時間	mm			交通量	平日 2,156 台/12h 休日 台/12h	
スケッチと位置を明記する														

5. R7以降の予定～ワークショップの開催～

案①__フィルタリング勉強会



グラウンド
データで変状
等が確認され
た箇所につい
て、現地調査
を実施するこ
とにより効率
化を実現

U L Sで取得した道路土工構造物点検対象箇所を教材にする

樹木データを除去したグラウンドデータを作成

実際にフィルタリング作業を体験

案②__災害査定資料への活用トレーニング



点群の活用に
慣れることで、
災害発生時に
おける安全で
効率的な業務
を実現

R 7年度災に用いた実際のデータ

R 7年度災に用いた実際のデータ

被害箇所のデータと実際の復旧工法を比較
しながら災害査定用の資料作成を体験する。

6. 今後の取組みと期待する効果

【業務の効率化・安全性の向上に向けて】

⇒ワークショップを通し、地元業者での活用を拡大する。

【人手不足の解消に向けて】

⇒身近な空間の点群データを活用したリクルート活動

（ゲーム感覚で測量・設計・施工。新たな仕事のやり方。測量設計業協会が…）

【新技術の導入検討】

⇒除雪車運転支援システムへの応用

ゲームエンジンによる景観検討

等、オープンデータ化により民間事業者から営業増

令和6年度 山形のみちづくり評議会 議事要旨

■ 日時・場所

令和7年1月27日（月）14:00～15:50（山形県自治会館2階201号会議室、WEB併用）

■ 出席委員

柴田会長、貝山委員、塩原委員、鈴木委員(WEB)、佐藤委員、森田委員、小林委員 7名

■ 議事概要

議題 令和5年度 道路事業の達成度報告

（事務局説明）

- ・ 19の指標のうち、15の指標で前年度からの進捗が見られた。また、R5年度末目標値について、19の指標のうち、14の指標で目標を達成した。
 - ・ その他の指標については、前年度から変化がないものもあるが、高規格道路の多くの区間が事業中であり、今後開通することで効果が表れることが期待されるため、目標値の達成に向け概ね予定通り事業が進捗していると判断できる。
 - ・ 全体的に概ね予定通り取り組みが進捗している。
- ➡ 令和5年度達成度報告書について委員より意見をいただいた。主な意見は以下の通り。
- ・ 高規格道路を整備するにあたり、その機能を最大限に発揮するためには周辺のアクセス道路もあわせて一緒に整備することが重要である。
 - ・ 市街地の道路整備などで、大事な文化遺産など残すべきものは残して整備を進めるべき。
 - ・ 委員会や住民等からの意見を踏まえ、様々な検討・工夫の結果、当初計画を一部見直した上で当初計画を達成できた事業については、その経緯を加えて公表しても良いと考える。
 - ・ 山形県内の道の駅は1つ1つの道の駅は魅力があるものの、ネットワークとして十分に活かしきれていないので、うまく工夫して線や面として展開させることにより人の流れを生み出すことができる。
 - ・ 新規の「道の駅」整備だけでなく、既存の「道の駅」再整備に対しても支援が必要。
 - ・ 道の駅の防災機能についても、地域に密着した形で検討を行うことが重要。
 - ・ 当初の目標値を実績が上回った指標については、効果を把握し、データを将来に活かしていくことが必要である。
 - ・ 指標によって県民にわかりにくい指標もあることから、補足説明を加えるなどの工夫が必要である。

以上